Panasonic®

DVD/MD ステレオシステム

取扱説明書

品番　SC-PM2DVD

MDLP

このたびは、DVD/MD ステレオシステムをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

■ この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
そのあと保存し、必要なときにお読みください。

■ 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

上手に使って上手に節電

保証書別添付

RQT7025-3S

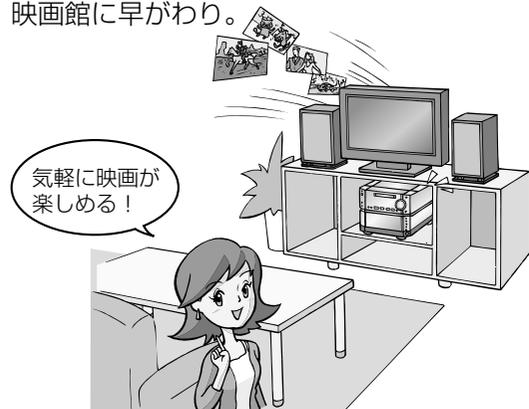
さまざまなディスクに対応

7ページ

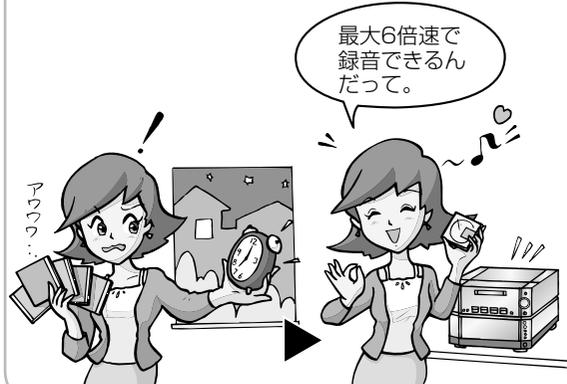
DVD-RAMやDVD-Audioも楽しめます。

プライベートシアターへ

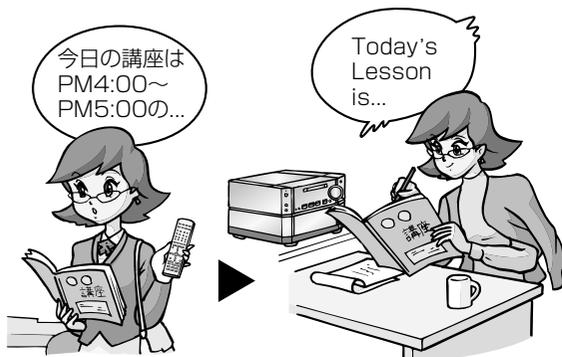
10~12ページ

テレビと接続すれば、お部屋が自分だけの映画館に早がわり。

すばやくMDに録音

36~38ページ

高速録音を使えば、短時間で録音できます。

ラジオ講座も忘れず録音

49ページ

予約した時間に録音できる“留守録タイマー”が便利です。

デモ機能

12ページ

電源を切っても、表示部は自動的に点灯して変化します。

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■ **表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。**

	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■ **お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。**
（下記は、絵表示の一例です。）

	この絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠ 警告

電源コードについて

電源コード・プラグを破損するようなことはしない

［傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない。］

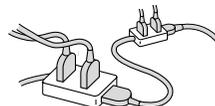
- 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。
- 抜くときは,プラグを持ち,まっすぐ抜いてください。
- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

電源プラグのほこり等は定期的にとる

- プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり火災の原因になります。
  電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
- 長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

- 差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。
- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流 100 V 以外での使用はしない

- たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

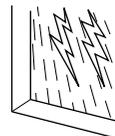
ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

ぬれ手禁止

- 感電の原因になります。

雷について

雷が鳴ったら、アンテナ線や機器、電源プラグに触れない

接触禁止

- 感電の恐れがあります。

ご使用について

機器内部に金属物を入れたり、水をかけたり濡らしたりしない

- ショートや発熱により火災や感電の原因になります。
- 機器の上に液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

⚠ 警告

ご使用について

分解、改造したりしない

分解禁止

- 内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。
- 内部の点検や修理は、販売店へご依頼ください。

もし異常が起こったら

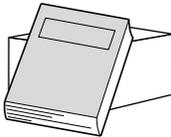
異常があったときは電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

- **機器内部に金属や水、異物が入ったとき**
- **煙や異臭、異音が出たり、落下、破損したとき**
- そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。
- 販売店にご相談ください。

⚠ 注意

設置・接続について

放熱を妨げない

- 内部に熱がこもると、機器のケースが変形したり、火災の原因になります。

油煙や湯気の当たるところや湿気やほこりの多いところに置かない

- 電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災や感電の原因になることがあります。

屋外アンテナの設置・工事は自分でしない

- 強風でアンテナが倒れた場合に、感電やけがの原因になることがあります。
- 設置・工事は販売店にご相談ください。

不安定な場所に置かない

- **上に大きなもの、重いものを載せない**
- **壁や天井に取り付けない**
- 機器が落ちたり、倒れたりして、けがの原因になることがあります。

異常に温度が高くなるところに置かない

- 機器表面や部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。
- 直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。

スピーカーは付属のものを接続する

- 付属以外のスピーカーを接続すると、スピーカーが発熱し、火災の原因になることがあります。

ご使用について

ヘッドホン使用時は、音量を上げすぎない

- 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

ディスクトレイの挿入口の奥に手を入れない

指に注意

- 閉まるときにはさまれて、けがの原因になることがあります。
- 特にお子様にはご注意ください。

⚠ 注意

ご使用について

機器に乗らない

- 倒れたりして、けがの原因になることがあります。
- 特にお子様にはご注意ください。

持ち運びについて

コードを接続した状態で移動しない

- 接続した状態で移動させようとすると、コードが傷つき火災や感電の原因になることがあります。
- また、引っかかったりして、けがの原因になることがあります。

電池について

電池は正しく取り扱う

- **⊕と⊖は正しく入れる**
- **長期間使用しないときは、取り出しておく**

電池は誤った使いかたをしない

- **新・旧電池や違う種類の電池をいっしょに使用しない**
- **乾電池は充電しない**
- **加熱・分解したり、水、火の中へ入れたりしない**
- **ネックレスなどの金属物といっしょにしない**
- **乾電池の代用として充電式電池を使わない**
- **被覆のはがれた電池は使わない**

- 取り扱いを誤ると、電池の液もれにより、火災や周囲汚損の原因になります。
- 万一液もれが起こったら販売店にご相談ください。
- 液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

本書の読み方

ディスクの表記について

- 本書では、DVD、CD を総称して「**ディスク**」、MD を「**MD**」と表記します。
- ディスクによって、使える機能が異なります。

例）
スロー再生
DVD-V DVD-A RAM VCD

スロー再生できるのは DVD ビデオ、DVD オーディオ、DVD-RAM、ビデオ CD であることを表します。
各マークの意味は、右ページをご覧ください。

お知らせ
映像や音楽は、次のような構成でディスクに記録されています。ディスクによって呼称が異なります。（下図は一例です）

DVD-V

タイトル1			タイトル2	
チャプター1	チャプター2	チャプター3	チャプター1	チャプター2

DVD-A / WMA / MP3

グループ1			グループ2	
トラック1	トラック2	トラック3	トラック1	トラック2

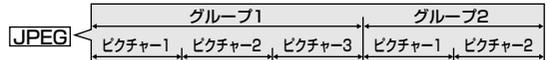
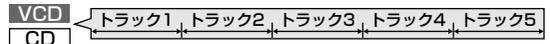
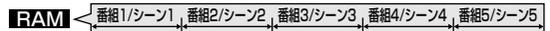
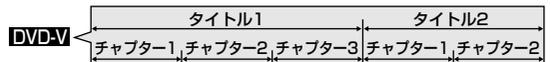
RAM

番組1/シーン1	番組2/シーン2	番組3/シーン3	番組4/シーン4	番組5/シーン5

VCD / CD

トラック1	トラック2	トラック3	トラック4	トラック5

JPEG

グループ1			グループ2	
ピクチャー1	ピクチャー2	ピクチャー3	ピクチャー1	ピクチャー2

ボタン操作の表記について

2 つのボタンを同時に押すときは、「＋」でつなげて表記しています。

例）
[SHIFT] ＋ [● REC/❚❚ SP/LP] を押す。

を**押したまま**、を**押す**ことを表します。

本書の説明について

- リモコンでの操作を中心に説明します。
- 画面は一例です。ディスクの種類やディスクの記録内容によって異なることがあります。

再生できるディスクについて

再生できるディスク（記録状態によっては再生できない場合があります）

名称	ロゴマーク	映像方式	本書でのマーク
DVD ビデオ	DVD VIDEO / DVD VIDEO	NTSC	DVD-V
DVD-R	DVD R R4.7		
DVD オーディオ	DVD AUDIO	NTSC/ PAL	DVD-A
DVD-RAM	DVD RAM RAM4.7	NTSC	RAM
ビデオ CD	COMPACT disc DIGITAL VIDEO / COMPACT disc SUPER VIDEO	NTSC	VCD [スーパービデオ CD（SVCD：IEC62107 準拠）を含む]
CD	COMPACT disc DIGITAL AUDIO / COMPACT disc DIGITAL AUDIO TEXT		CD（CD テキストを含む）
CD-R/ CD-RW			WMA/MP3 JPEG

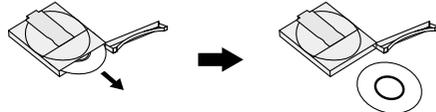
■ DVD ビデオディスク
発売地域ごとに割り当てられたリージョン番号が付与されています。
- 本機のリージョン番号は「2」です。
- 「2」（または「2」を含むもの）もしくは「ALL」とジャケットに記されている DVD ビデオディスクを再生できます。

など

■ DVD-R ディスク
当社製 DVD ビデオレコーダーまたは DVD ビデオカメラで録画し、ファイナライズ※した当社製 DVD-R ディスクは、「DVD ビデオ」として再生できます。
※再生対応機器で再生できるように処理すること。

■ DVD-RAM ディスク
以下の条件に合ったディスクを再生できます。

タイプ	● カートリッジなし ● カートリッジ付きでディスクを取り出せるもの（TYPE2、TYPE4）
容量	9.4GB（両面、12cm） 4.7GB（片面、12cm） 2.8GB（両面、8cm）
記録媒体	DVD ビデオレコーダー、DVD ビデオカメラ、パソコンなどビデオレコーディング規格 Ver.1.1（ビデオ録画のための統一規格）で記録されたもの

- カートリッジ付きディスクを再生するときは、必ずディスクをカートリッジから取り出し、使用後はカートリッジに収納してください。（くわしくは、ディスクに付属の説明書などをご覧ください）

- 取り出したディスクに傷や汚れを付けないでください。
- 番組と番組のつなぎ目部分などで、なめらかに再生できない場合があります。

■ CD-R/CD-RW ディスク
- CD-DA、ビデオ CD、WMA、MP3 または JPEG フォーマットで記録された CD-R と CD-RW を再生できます。CD-DA フォーマットの場合は、音楽用ディスクを使用し、録音終了時にファイナライズ※が必要です。
  ※再生対応機器で再生できるように処理すること。
- **HighMAT（ハイマット）™ 規格に準拠して記録されたディスク**
  WMA、MP3 または JPEG フォーマットでのデータを HighMAT 規格に準拠して記録することで、プレイリスト再生を楽しめます。
  （➡ 19、59 ページ）

■ DVD オーディオ
PAL 方式で記録された静止画は、NTSC 方式に変換して再生します。

再生できないディスク

- リージョン番号「2」「ALL」以外の DVD ビデオ
- PAL 方式で記録されたディスク（DVD オーディオディスクを除く）
- DVD-RAM（2.6 GB、5.2 GB、TYPE 1）
- DVD-ROM
- +RW
- DVD-RW
- CD-ROM
- CD-G
- SACD
- CDV
- Photo-CD
- Chaoji VCD（“超級”と呼ばれる市販の SVCD、CVD、DVCD）　など

お知らせ
- DVD ビデオ、DVD オーディオ、ビデオ CD の中には、ディスク側の制約により、本書の記載通りに動作しないディスクがあります。くわしくは、ディスクのジャケットなどをご覧ください。
- 表示部に再生経過時間が出ないディスクや、メニュー画面付きビデオ CD の場合、一部の機能が働かないことがあります。
- それぞれの規格に合致したディスクをご使用ください。規格外ディスクを使用すると正しく再生できない場合があります。

著作権について

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
なお、デジタル録音機器の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれております。

お問合せ先：（社）私的録音補償金管理協会
☎ 03-5353-0336

- 放送やレコードその他の録音物（ミュージックテープ、カラオケテープなど）の音楽及び映像作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。
- 従って、それらから録音したMDやテープを売ったり、配ったり、譲ったり、貸したりする場合、および営利（店のBGMなど）のために使用する場合には、著作権法上、権利者の許諾が必要です。
- 使用条件は、場合によって異なりますので、詳しい内容や申請、その他の手続きについては、「日本音楽著作権協会」（JASRAC）の本部または最寄りの支部にお尋ねください。

日本音楽著作権協会

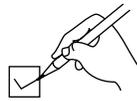
本部	☎ (03) 3481-2121	静岡支部	☎ (054) 254-2621
北海道支部	☎ (011) 221-5088	中部支部	☎ (052) 583-7590
盛岡支部	☎ (019) 652-3201	北陸支部	☎ (076) 221-3602
仙台支部	☎ (022) 264-2266	京都支部	☎ (075) 251-0134
長野支部	☎ (026) 225-7111	大阪支部	☎ (06) 6244-0351
大宮支部	☎ (048) 643-5461	神戸支部	☎ (078) 322-0561
上野支部	☎ (03) 3832-1033	中国支部	☎ (082) 249-6362
東京支部	☎ (03) 3562-4455	四国支部	☎ (087) 821-9191
西東京支部	☎ (03) 3232-8301	九州支部	☎ (092) 441-2285
東京イベントコンサート支部	☎ (03) 5286-1671	鹿児島支部	☎ (099) 224-6211
立川支部	☎ (042) 529-1500	那覇支部	☎ (098) 863-1228
横浜支部	☎ (045) 662-6551		

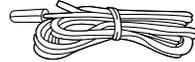
ディスクを無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。

本製品は、著作権保護技術を採用しており、マクロビジョン社及びその他の著作権利者が保有する米国特許及びその他の知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用は、マクロビジョン社の許可が必要で、また、マクロビジョン社の特別な許可がない限り家庭用及びその他の一部の観賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。

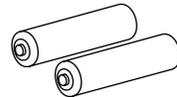
ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

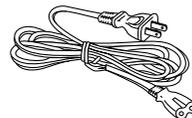
この製品は米国DTS社からの実施権に基づき製造されています。合衆国特許No.5,451,942、5,956,674、5,974,380、5,978,762。海外特許申請中。「DTS」および「DTSデジタルサラウンド」はDTS社の登録商標です。著作権1996年、2000年DTS社。不許複製。

付属品の確認

付属品の買い替えは、お買い上げの販売店にご相談ください。
カッコ（　　）内は、買い替え時の品番です。

□ FM簡易型アンテナ 1本
（品番 RSA0007-L）

□ AMループアンテナ 1本
（品番 N1DAAAA00001）

□ リモコン..1コ
（品番 EUR7623030）

□ リモコン用単3形乾電池......................2本

□ ビデオコード..1本
（品番 RJL1P016B15A）

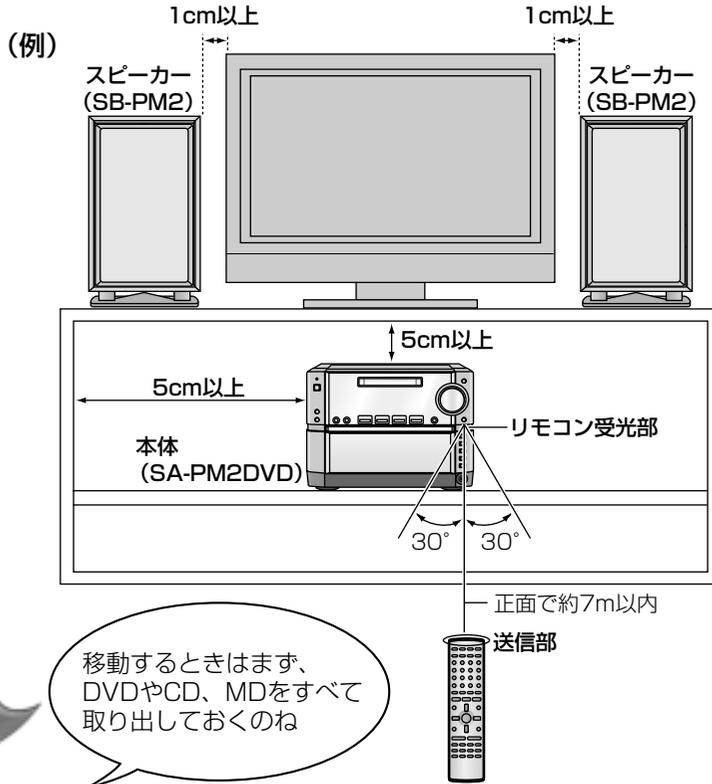
□ 電源コード..1本
（品番 RJA0012-K）

付属の電源コードは、本機専用です。
他の機器に使用しないでください。

設置とリモコンの準備

スピーカーは右、左とも同じ形です。どちらに置いてもかまいません。
イラスト内の各距離は、よい音響効果を得るための目安です。

DVD/MD ステレオシステム（SC-PM2DVD）

（例）

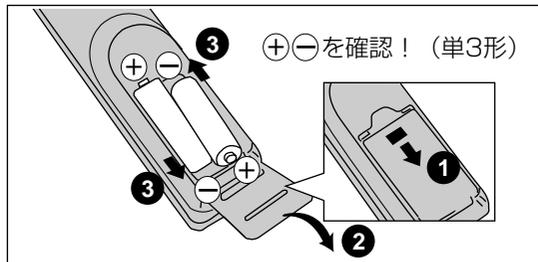
1cm以上
1cm以上
スピーカー（SB-PM2）
スピーカー（SB-PM2）
5cm以上
5cm以上
本体（SA-PM2DVD）
リモコン受光部
30°
30°
正面で約7m以内
送信部

移動するときはまず、DVDやCD、MDをすべて取り出しておくのね

本機を移動するときは

① DVD、CD、MD をすべて取り出す。
② [⏻/I POWER] を押して、電源を切る。
③ “GOODBYE” の表示が消えてから電源プラグを抜く。
※ この操作をしないと、故障の原因になることがあります。

よりよい音響効果を得るには

- 平らで安定した場所に設置する。
- 堅い壁やガラス窓には、厚地のカーテンなどを掛ける。
- 床や壁から 5 cm 以上離して設置する。

リモコンに乾電池（付属）を入れる

使用上のお願い

- 受光部とリモコンの間に障害物を置かない。
- 受光部に直射日光やインバーター蛍光灯の強い光を当てない。
- 受光部と送信部のほこりに注意。

本体をラックに入れて使用するとき

ラックのガラス扉の厚さや色などによって、リモコンの動作距離が短くなることがあります。

スピーカーについて

- 付属のスピーカーは、テレビとの近接使用が可能な防磁設計です。（➡ 65 ページ）
- 付属のスピーカー以外はご使用になれません。（➡ 62 ページ）

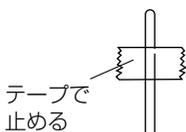
お願い

- 大きな音量で連続使用しないでください。
  スピーカー特性の劣化が起こったり、スピーカーの寿命が極端に短くなったりすることがあります。
- **通常の使用時でも以下のような場合は、音量を下げてご使用ください。（音量を下げないと、スピーカー破損の原因になることがあります）**
  ―音がひずんだとき
  ―音質を調整するとき

1 AMループアンテナ

つないだあと、実際に放送を受信してみて（➡ 34ページ）、雑音の少ない位置に置きます。

2 FM簡易型アンテナ

つないだあと、実際に放送を受信してみて（➡ 34ページ）、雑音の少ない位置で壁や柱に止めます。

3 ビデオコード

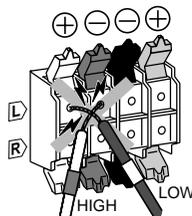
直接テレビに接続してください。ビデオテープレコーダーなどを経由してテレビに接続したり、ビデオ内蔵型テレビのビデオ入力端子に接続すると、再生時に画面が乱れることがあります。

ご使用のテレビにD端子やコンポーネント端子、S端子があるときは、12ページの接続をおすすめします。

4 スピーカーコード

① スピーカーコードの先端のビニール部分は、ねじりながら抜き取ります。

② 端子のレバーと同じ色のチューブが付いたコードをつなぎます。（白色のチューブが付いたコードは灰色の端子につなぎます。）
誤った接続をすると故障の原因になります。

白/青のチューブが付いたコードは高域用、
赤/黒のチューブが付いたコードは低域用です。

スピーカーコードをショートさせないでください。
回路が破損する恐れがあります。

5 電源コード

電源コードは、最後に接続します。

移動などで電源コードを抜くときは

① DVD、CD、MDをすべて取り出す。
② [⏻/I POWER] を押して電源を切る。
③ “GOODBYE” の表示が消えてから電源プラグを抜く。

GOODBYE

電源コードを抜くときは “GOODBYE” の表示が消えてからね。

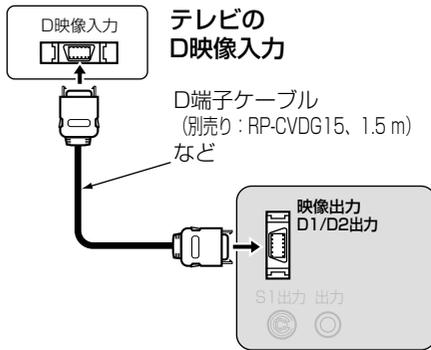
（左）

家庭用電源コンセント
（AC100 V　50/60 Hz）

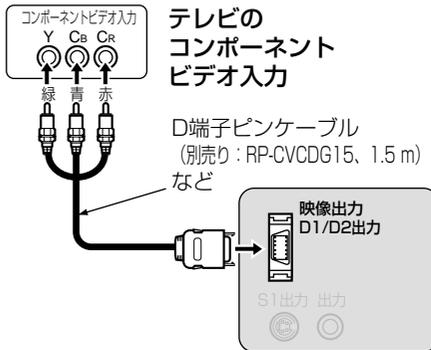
確認と準備

テレビのD端子/コンポーネント端子/S端子と接続する

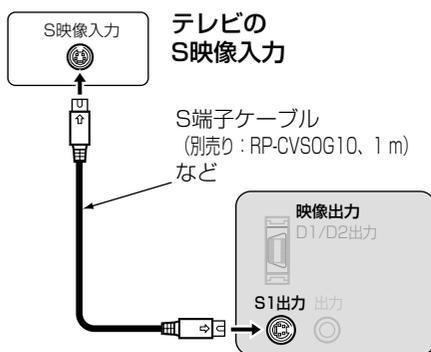
ご使用のテレビに合わせて、接続方法をお選びください。より高画質でDVDを楽しめます。

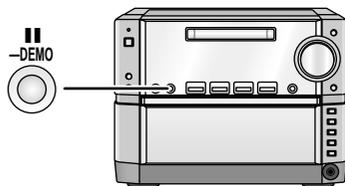
D端子と接続

- D3、D4などと表示されていても接続できます。
- D1と表示されている場合は、本機のプログレッシブ映像を楽しめません。（インターレース映像のみの出力になります）

対応するテレビ（➡ 61ページ）で、プログレッシブ映像を楽しむには
①「プログレッシブ出力」を「可能」にする。（➡ 右ページ）
② 画質設定の「ビデオ出力モード」を「525P」にする。（➡ 28ページ）

コンポーネント端子と接続

- ハイビジョンテレビに接続する場合は、DVDに対応した端子に接続してください。ハイビジョン方式（MUSE）の端子に接続すると、画面が乱れたり映らないことがあります。

対応するテレビ（➡ 61ページ）で、プログレッシブ映像を楽しむには
①「プログレッシブ出力」を「可能」にする。（➡ 右ページ）
② 画質設定の「ビデオ出力モード」を「525P」にする。（➡ 28ページ）

S端子と接続

- 接続後、テレビ側で切り換えが必要な場合があります。くわしくは、テレビの説明書をご覧ください。

表示部の変化について（デモ機能）

電源コードをコンセントに差し込むと、表示部が点灯し、次々と変化します。（デモ機能）
お買い上げ時は、デモ機能が「入」に設定されているので、電源を切っても表示部は全消灯せず、デモ機能が働きます。

デモ機能を「切」にするには

II –DEMO

デモ機能動作中に
“DEMO OFF”と表示するまで押し続ける

押し続けるたびに
DEMO OFF（切）⇄ DEMO ON（入）

本機の時計を合わせると、デモ機能は自動的に「切」になります。（➡ 46ページ）

テレビに合わせて設定する

準備 テレビの電源を入れ、テレビのビデオ入力を切り換える。（ビデオ 2 など）

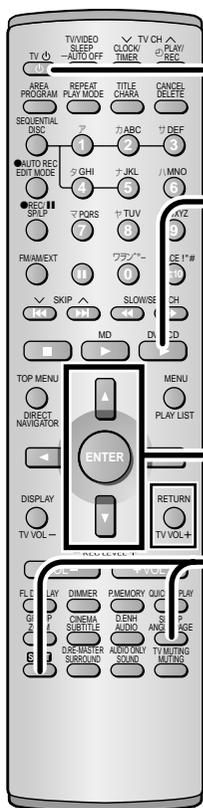
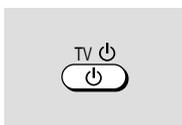
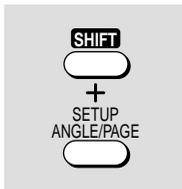
1

押して
電源を入れる

2

押して
“DVD/CD” にする

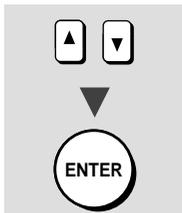
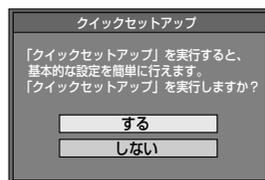
3

SHIFT ＋ SETUP ANGLE/PAGE

押す
お買い上げ後初めてのときは、テレビ画面に、基本的な設定が簡単に行える**クイックセットアップ**が表示されます。（次回から初期設定画面 ➡ 52 ページ）

4

▲ ▼ ▼ ENTER

押して
“する”を選び

クイックセットアップ
「クイックセットアップ」を実行すると、基本的な設定を簡単に行えます。
「クイックセットアップ」を実行しますか？
する
しない

押す
画面のガイドに従って設定できます。
設定を終えたら、[ENTER] を押す。

クイックセットアップで設定できる項目
- 画面メニュー言語
- 音声言語
- 字幕言語
- 接続する TV
- TV アスペクト※
- プログレッシブ出力
- PCM デジタル出力

※TV アスペクトについて
ご使用のテレビに合わせて、16:9 の映像の表示方法を選択します。
- **お使いのテレビが標準（4:3）サイズのとき**
  「4:3」を選択
  「4:3 パン&スキャン」を選ぶと
  左右がカットされた映像になります。

  「4:3 レターボックス」を選ぶと
  上下に黒い帯のある映像になります。

- **お使いのテレビがワイドサイズのとき**
  「16:9」を選択

インターレース出力/プログレッシブ出力
従来の映像信号（NTSC）は 525I（I ：インターレース＝飛び越し走査）といわれるのに対し、その 525I 信号の倍の走査線数を持つ高密度な映像信号を 525P（P ：プログレッシブ＝順次走査）といいます。

ひとつ前の画面に戻るには
[RETURN] を押す。

画面を消すには
[SHIFT]＋[SET UP] を押す。

クイックセットアップを “しない” にしたときは
初期設定画面（➡ 52 ページ）になります。
必要に応じて初期設定を変更してください。
設定を終えたら、[SHIFT]＋[SETUP] を押す。

お知らせ
- DVD の映像の縦横比は、ディスクによって異なります。
- 必要に応じて、テレビ側の画面モードも設定してください。
- 本機の映像出力端子または S1 映像出力端子でテレビと接続したときは、表示部の “PROG.” 点灯にかかわらず、インターレース出力になります。

各部のなまえ

[➡ 16] などの数字は参照ページです。

本　体

AC IN（通電）ランプ
電源コードを接続すると赤色点灯

MD 挿入口

表示部（下記）

VOLUME（音量調節）つまみ [➡ 16]

▲ MD（取り出し）ボタン [➡ 31]

⏻/I POWER（電源）ボタン

▲ OPEN/CLOSE（トレイ開閉）ボタン [➡ 17]

SP/LP（長時間録音モード）ボタン [➡ 37]

リモコン受光部 [➡ 9]

DISC CHECK（ディスク確認）ボタン [➡ 51]

DISC1–5（ディスク選択）ボタンとランプ [➡ 17]

● HI-SPEED AUTO REC CD ▶ MD（5CD イッキ録り）ボタンとランプ [➡ 38]

PHONES（ヘッドホン）端子 [➡ 55]

DISC CHANGE ▲（ディスク交換）ボタン [➡ 17]

❚❚（一時停止）、– DEMO ボタン [➡ 12、21、31]

FM/AM/EXT（ラジオ、外部入力切換）ボタン [➡ 34、56]

ディスクトレイふた

DVD/CD ▶（再生）ボタン [➡ 17]

■（停止）ボタン [➡ 17、31]

MD ▶（再生）ボタン [➡ 31]

表示部

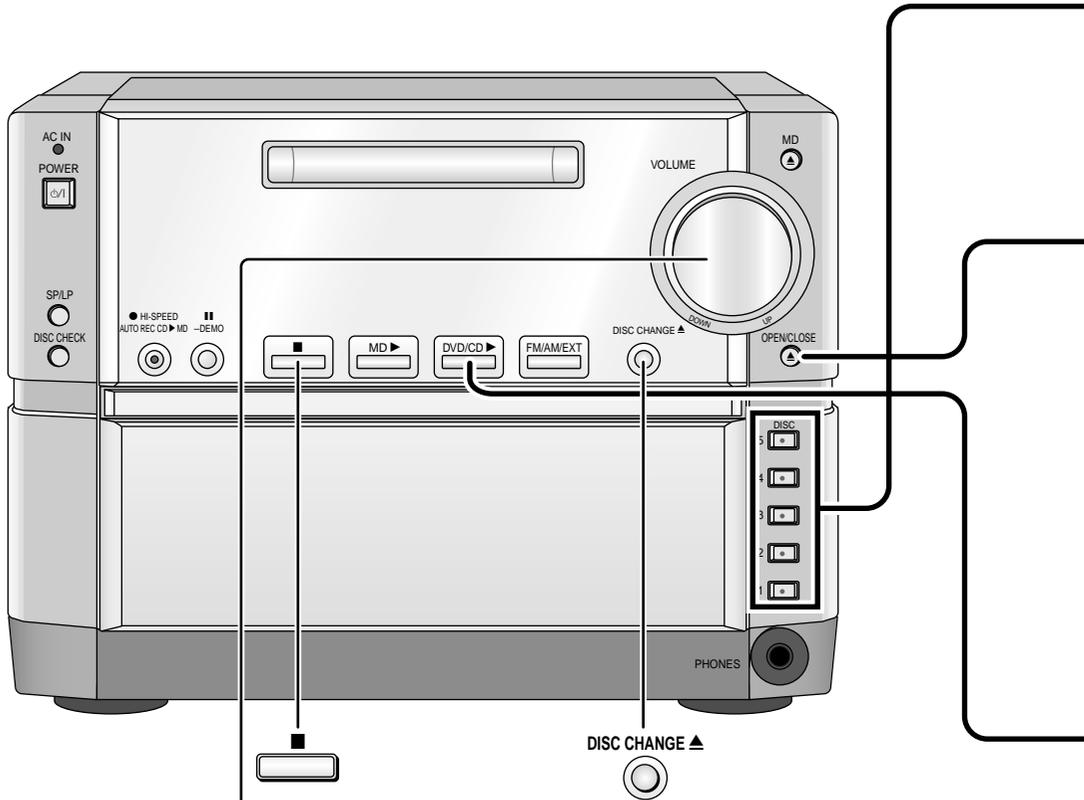
リモコン

下記イラストの灰色のボタン（AREA PROGRAM など）は、[SHIFT] を押したまま押すことで、複数の働きをします。

① ⏻（電源）、TV ⏻（テレビ電源）ボタン [➡ 13、55]
② TV/VIDEO（入力切換）、SLEEP、–AUTO OFF ボタン [➡ 48、55]
③ AREA、PROGRAM ボタン [➡ 26、32、35]
④ REPEAT、PLAY MODE ボタン [➡ 23、25、31]
⑤ SEQUENTIAL、DISC ボタン [➡ 17、18]
⑥ ● AUTO REC（丸録り）、EDIT MODE ボタン [➡ 39、43]
⑦ ● REC/ ❚❚（録音）、SP/LP（長時間録音）ボタン [➡ 37]
⑧ FM/AM/EXT（ラジオ、外部入力切換）ボタン [➡ 34、56]
⑨ ❚❚（一時停止）ボタン [➡ 21、31]
⑩ ⏮ ∨ SKIP ∧ ⏭ ボタン [➡ 21、31]
⑪ ■（停止）ボタン [➡ 17、31]
⑫ TOP MENU、DIRECT NAVIGATOR ボタン [➡ 17、18]
⑬ ▲、▼、◀、▶（カーソル）、ENTER（確定）ボタン [➡ 17]
⑭ DISPLAY（GUI 画面表示）、TV VOL−（音量）ボタン [➡ 27、55]
⑮ FL DISPLAY（本機表示）ボタン [➡ 31]
⑯ DIMMER ボタン [➡ 51]
⑰ GROUP、ZOOM ボタン [➡ 23、24]
⑱ CINEMA、SUBTITLE ボタン [➡ 22、51]
⑲ SHIFT ボタン
⑳ D.RE-MASTER、SURROUND（音場）ボタン [➡ 50]
㉑ TV CH ∧、◴PLAY/REC（タイマー入/切）ボタン [➡ 47、55]
㉒ ∨ TV CH、CLOCK/TIMER ボタン [➡ 46、55]
㉓ CANCEL、DELETE（削除）ボタン [➡ 26、41]
㉔ TITLE（入力）、CHARA（文字種）ボタン [➡ 41、42]
㉕ 1～0、≧ 10（数字）、文字ボタン [➡ 23、41]
㉖ ◀◀ SLOW/SEARCH ▶▶ ボタン [➡ 21、31]
㉗ ▶ DVD/CD（再生）ボタン [➡ 17]
㉘ ▶ MD（再生）ボタン [➡ 31]
㉙ MENU、PLAY LIST ボタン [➡ 17、18]
㉚ RETURN、TV VOL ＋（音量）ボタン [➡ 13、55]
㉛ VOL（音量）、− REC LEVEL ＋（録音レベル）ボタン [➡ 34、36]
㉜ QUICK REPLAY ボタン [➡ 20]
㉝ P.MEMORY ボタン [➡ 20]
㉞ SETUP（初期設定）、ANGLE/PAGE ボタン [➡ 13、22、23、24]
㉟ D.ENH、AUDIO（音声）ボタン [➡ 22、50]
㊱ TV MUTING、MUTING（消音）ボタン [➡ 51、55]
㊲ AUDIO ONLY、SOUND（音質）ボタン [➡ 50、51]

ディスク（DVD/CD）を再生する

全ディスクに共通する、基本的な再生方法について説明します。

準備 テレビの電源を入れ、テレビのビデオ入力を切り換える。（ビデオ 2 など）

JPEG と音楽ファイル（WMA/MP3）を両方含むディスクのときは

ディスクを入れる前に「混在ディスク音声＆静止画」（➡ 53 ページ）で再生するファイル形式を選択してください。

PBC 付きビデオ CD について

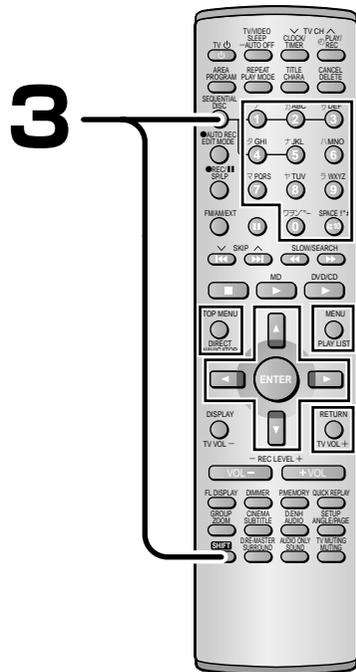
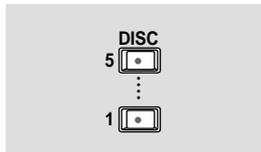
PBC（プレイバックコントロール）を解除することで、普通の CD と同じように数字ボタンでの曲番指定などが可能になります。

PBC を解除するには

メニュー画面表示中に、[■] を押す。

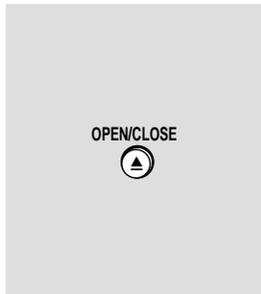
再び PBC に戻すには

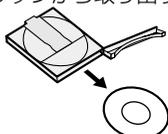
① 再生を止める。
② リモコンの [MENU] を押す。

1

DISC 5 … 1

押して
トレイを選ぶ
電源が入り、選んだボタンのランプが点灯します。

すでにディスクが入っているときは、自動的に電源が入り、再生が始まります。
（ワンタッチプレイ）

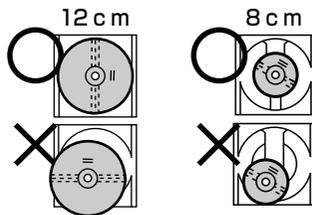
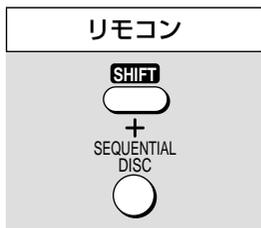
2

OPEN/CLOSE ▲

押してトレイを開き
ディスクを入れる

● カートリッジ付きディスクは、カートリッジから取り出す

閉めるには、もう一度押す。

● トレイには１枚のディスクを入れる
● 再生したい側のラベル面を上にして、図の位置に正しく置く

3

リモコン

１枚だけ再生する（1 DISC プレイ）

停止中に押して
"1 DISC" を選ぶ

1 DISC
1 DISC

複数枚を連続して再生する（ALL DISC プレイ）

VCD CD WMA/MP3 のみ

停止中に押して
"ALL DISC" を選ぶ

ALL DISC
ALL DISC

4

押す
ランプが点灯しているディスクの再生が始まります。

押す
ランプが点灯しているディスクから順に再生します。

メニュー画面が表示されたら DVD-V DVD-A VCD
[▲、▼、◀、▶] を押して項目を選び、[ENTER] を押す。
数字ボタンで選ぶディスクもあります。
メニュー画面に戻すには

DVD-V DVD-A	[TOP MENU]（最初のメニュー画面）
DVD-V	[MENU]（メニュー画面）
VCD	[RETURN]

再生中、他のトレイにディスクを入れる

押し

▼

DISC 5 … 1

押してトレイを選ぶ
閉めるときは再度 [DISC CHANGE ▲] を押す。

途中で止める

■

押す
"RESUME" と表示しているときは、止めた位置が記憶されています。
（続き再生メモリー機能 ➡ 20 ページ）

ディスクを選んで再生する
（自動的に "1 DISC" モードになります）

DISC 5 … 1

押してディスクを選ぶ
自動的に再生が始まります。

リモコン
[DISC] → [◀、▶] → [ENTER]
または
[DISC] → [1] ～ [5]

お知らせ

● VCD "ALL DISC" モードのとき PBC は解除されます。
● テレビ画面に "⃠" と表示したときは、ディスクまたは本機がその操作を禁止しています。
● 映像や音声が出るまでに時間のかかることがありますが、故障ではありません。
● メニュー画面表示中も、ディスクは回転しています。本機のモーターの保護と、テレビ画面への焼き付きなどを防ぐため、再生しないときは [■] を押して止めてください。

共通の準備

テレビと接続する
テレビの電源を入れ、テレビのビデオ入力を切り換える（ビデオ２など）

① SEQUENTIAL DISC **押し**

10秒以内

ア ① …… ⑤ ナJKL **押してディスクを選ぶ**

② ■ **押す**

RAM（プログラムナビ）：番組リストが表示されます。
RAM（プレイリスト）：好みのシーンを集めたリストが表示されます。
CDテキスト：記録されているディスク/アーティスト/トラック名を表示します。
WMA/MP3 JPEG：パソコンで付けたフォルダ名/ファイル名は、グループ名/トラック名として表示されます。

1

TOP MENU DIRECT NAVIGATOR **押す**

RAM（プレイリスト）のみ
MENU PLAY LIST

例）**RAM**（プログラムナビ）

例）**RAM**（プレイリスト）

例）MP3

No	グループ：ピアノ名曲集
1	ピアノ協奏曲　第１楽章
2	ピアノ協奏曲　第２楽章
3	ピアノ協奏曲　第３楽章
4	ノクターン 1番
5	ノクターン 2番
6	ノクターン 3番
7	ノクターン 4番
8	ポロネーズ 1番
9	ポロネーズ 2番
10	エチュード 1番

2

▲ ▼ **押して番組/プレイリスト/トラックを選び**

RAM（プログラムナビ）
背景で、選んだ番組が再生されます。
リストの続きは、[▼] を押し続けると表示されます。
JPEG [▲、▼、◀、▶] で静止画を選び

ENTER **押す**

再生が始まります。

前後のページを表示するには

CDテキスト WMA/MP3 JPEG
[▲、▼、◀、▶] で "前ページ"、"次ページ" を選び、[ENTER] を押す。

ディスク全体図（ツリー画面）からグループを選ぶ

WMA/MP3 JPEG

① メニュー画面表示中に
WMA/MP3
トラックを選び [▶] を押す。
JPEG [▲、▼、◀、▶] で "ツリー" を選び、[ENTER] を押す。

② [▲、▼、◀、▶] でグループを選び [ENTER] を押す。
選んだグループのメニュー画面/アルバム画面が表示されます。

共通の項目

メニュー画面や番組リストを消すには

[TOP MENU　DIRECT NAVIGATOR] を押す。

プレイリストを消すには

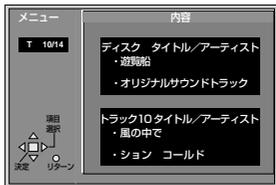
[MENU　PLAY LIST] を押す。

お知らせ

- １枚のディスクにWMA/MP3と静止画の両方を記録しているときは、初期設定「混在ディスク 音声＆静止画」でどちらを再生するか選ぶ。自動的にディスクを読み込み直します。（➡ 53ページ）

曲情報を見る

CDテキスト

① メニュー画面表示中に [▲、▼] で、曲を選ぶ。
② [▶] を押す。
曲情報が表示されます。
[◀、▶] で他の曲情報も見られます。
[ENTER] を押すと、再生が始まります。

タイトルで曲を探して再生する

WMA/MP3 CDテキスト

ひらがな、カタカナ、英数字を、**ローマ字**で検索します。（大文字/小文字は区別されません）
例）タイトルに「うた」を含む曲を探す。

① メニュー画面表示中に [▲、▼] で、"検索" を選び [ENTER] を押す。

② [▲、▼] で "U" を選び、[ENTER] を押す。
[▲] を押すたびに
A → B →…→ Z → 0 → 1 →…→ 9
続けて "T" "A" と選びます。
このとき "＊" は消さないでください。
③ [▶] で "検索" を選び、[ENTER] を押す。
検索結果が表示されます。
④ [▲、▼] で曲を選び、[ENTER] を押す。
再生が始まります。

入力した文字で始まるタイトルを探すには

手順 ① の後、[◀] で "＊" を消してから入力する。

お知らせ

- 数字は、数字ボタンでも入力できます。
- [⏮ ∨ SKIP ∧ ⏭] で「A、E、I、O、U」にスキップします。
- 確定した文字を変更するには、[◀] で文字をハイライトさせ、選び直します。

ひとつ前の画面に戻るには

[RETURN] を押す

お知らせ

- 番組やプレイリストは、数字ボタンでも選べます。
- DVD-RAM で静止画を再生中は、"S-PIC" と表示されます。
- テレビ画面下部に表示されるトラック情報は、[SUBTITLE] で入/切できます。

HighMAT 規格に準拠して記録されたディスクの再生

ディスクを入れるとメニュー画面が表示されます。

● **メニュー画面に戻る**
[TOP MENU] を押す。
（[RETURN] を押すと、ひとつ前のメニューに戻ります。）

● **ディスクに記録されたメニュー画面に切り換える**
メニュー画面表示中、[DISPLAY] を押す。

■リスト画面から選んで再生する

① 再生中
[MENU PLAY LIST] を押す

② [◀] → [▲、▼] でプレイリスト/グループ/コンテンツのリストを切り換える
③ [▶] → [▲、▼] で選び、[ENTER] を押す

● **リスト画面を消す**
[MENU PLAY LIST] を押す

お知らせ

- HighMAT 規格に準拠して記録されたディスクでプログラムプレイ/ランダムプレイなどをするときは、初期設定「HighMAT 再生」を "しない" にする。自動的にディスクを読み込み直します。（➡ 53ページ）

ディスクのいろいろな再生

共通の準備

① SEQUENTIAL DISC **押し**

10秒以内

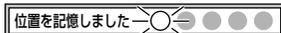
ア 1 …… ナJKL 5 **押してディスクを選ぶ**

② ■ **押す**

記憶させた位置から再生する（ポジションメモリー）

DVD-V DVD-A RAM VCD CD WMA/MP3 JPEG

1 P.MEMORY 再生中に
記憶させる位置で押す

位置を記憶しました

続けて押すと、上書きされます。

以下のことを行っても記憶しています。
- 電源を切る
- セレクター（音源）を切り換える
- ディスクを取り出す

2 **記憶させた位置から再生させるには**
- 電源を入れる
- セレクターを“DVD/CD”にする
- 同じディスクを入れる

3 DVD/CD ▶ **押す**

記憶させた位置から再生します。
（この時点で記憶は消去されます）

- ディスク5枚分まで記憶させられます。6枚目以降は、古い記憶から順に消去されます。
- ディスクによって記憶できない箇所があります。
- 記憶は“ALL DISC”モードでもできますが、再生は“1 DISC”モードでのみ行えます。

続き再生メモリー機能

再生途中で［■］を押すと、本機は停止位置を記憶し“RESUME”と表示します。
“RESUME”表示中に［▶DVD/CD］を押すと、停止位置から再生が始まります。

あらすじリプレイ

DVD-V の同一タイトル内のみ

右のメッセージ表示中に［▶DVD/CD］を押すと、各チャプターの冒頭を最初から順に再生した後、記憶させた位置から通常再生します。

再生ボタンを押すと、
あらすじリプレイになります。

［▶DVD/CD］を押さずにいると、記憶させた位置から再生します。

メモリーを解除するには
“RESUME”が消えるまで［■］を押す。

見逃した場面/曲を再生する（クイックリプレイ）

DVD-V DVD-A RAM VCD CD WMA/MP3 JPEG

（同一番組/タイトル/トラック内のみ）

QUICK REPLAY 再生中に
押す

押すたびに7〜10秒程度（JPEG は5、6枚）戻って再生します。

一時停止/スロー再生/コマ送りする

一時停止

DVD-V DVD-A RAM VCD CD WMA/MP3 JPEG

再生中に
押す

スロー再生

DVD-V DVD-A（動画部のみ） RAM VCD（正方向のみ）

SLOW/SEARCH
一時停止中に
押す

押すたびに速くなります。（5 段階）

コマ送り/コマ戻し

DVD-V DVD-A（動画部のみ） RAM VCD（正方向のみ）

一時停止中に
押す

- 押し続けると、連続してコマ送り／コマ戻しします。
- [❚❚] でもコマ送りできます。

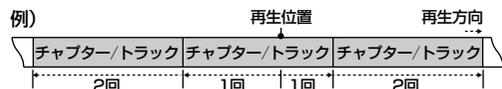
通常再生に戻すには
[▶DVD/CD] を押す。

場面/曲をとび越す（スキップ）

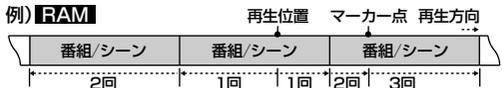
DVD-V DVD-A RAM VCD CD WMA/MP3 JPEG

SKIP
再生中/一時停止中に
押す

押した回数だけとび越します。

例）
再生位置　再生方向
チャプター/トラック｜チャプター/トラック｜チャプター/トラック
2回　1回　1回　2回

JPEG
[▲、▼] を押すと、グループの頭出しになります。

RAM
- マーカーが記録されているときは、マーカー位置までとび越します。
- プレイリスト再生（➡ 18 ページ）では、シーンの開始点までとび越します。
- コマーシャルが録画されていると、そこにとび越すことがあります。

例）RAM
再生位置　マーカー点　再生方向
番組/シーン｜番組/シーン｜番組/シーン
2回　1回　1回　2回　3回

早送り/早戻しする（サーチ）

DVD-V DVD-A RAM VCD CD WMA/MP3

SLOW/SEARCH
再生中に
押す

- 押すたびに速くなります。（5 段階）
- DVD-V DVD-A（動画部のみ） RAM VCD は、早送り 1 段階目のみ音声が聞こえます。（音声を消すには ➡ 53 ページ）
- DVD-V DVD-A（動画部のみ） は、再生速度を微調整できます。（➡ 29 ページ）

好みの位置にマークを付ける（マーカー）

DVD-V DVD-A RAM VCD CD WMA/MP3 JPEG

もう一度見たい位置に、最大 5 カ所（RAM のみ 999 カ所）までマークを付けられます。

1 再生中に
再生設定画面にする（➡ 28 ページ）

2 **押して“マーカー”を選び**
ENTER
押す
RAM 続けて [▶] で “＊” を選ぶ。

3 ENTER
好みの位置で、押す
続けて付けるには [◀、▶] → [ENTER] を押す。

マークを付けた位置から再生する

[◀、▶] を押してマーカーを選び [ENTER] を押す
マーカーを取り消す：[◀、▶] → [SHIFT] ＋ [CANCEL]

11 カ所以上にマークを付けるには（RAM のみ）
① [◀、▶] でマーカーピンアイコンをハイライトさせる。

② [▲、▼] で “11 — 20” を選ぶ。
10 個のマークが付いてから、次の 10 番台が選べます。

お知らせ
- 本機で付けたマーカーは、電源を切る、セレクターを切り換える、トレイを開けると取り消されます。

RAM
- プレイリスト再生時は、働きません。
- マーカー番号はディスクの時間経過順に並び替わります。追加や取り消しをすると、付けたときの番号と呼び出したときの番号が異なることがあります。
- DVD ビデオレコーダーなどで RAM ディスクに記録したマーカーも、取り消すことができます。ただし、電源を切る、セレクターを切り換える、トレイを開けると再び表示されます。

共通の準備

① SEQUENTIAL DISC **押し**

10秒以内 **押してディスクを選ぶ**

② ■ **押す**

音声属性
LPCM/PPCM/■■ Digital/DTS/MPEG：信号タイプ
k：サンプリング周波数　b：ビット数
ch：チャンネル数

音声/字幕言語

日：日本語	英：英語
仏：フランス語	独：ドイツ語
伊：イタリア語	西：スペイン語
蘭：オランダ語	中：中国語
露：ロシア語	韓：韓国語
＊：その他	

アングル/音声/字幕を切り換える

複数のアングル/音声/字幕が記録されているときは、好みに応じて切り換えられます。

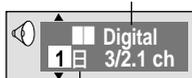
アングル

DVD-V　DVD-A（動画部のみ）

SETUP ANGLE/PAGE
再生中に
押す
押すたびに、アングルが切り換わります。

音声

DVD-V　DVD-A　RAM　VCD

D.ENH AUDIO
再生中に
押す

例）DVD-V
音声属性（➡ 下記）
Digital
1 日　3/2.1 ch
音声言語（➡ 下記）
音声がないとき：“-” “- - -”表示

押すたびに、音声が切り換わります。
- VCD カラオケディスクはボーカルの入/切ができます。ジャケットなどをご覧ください。
- RAM　DVD-A（静止画付トラックと音声のみのトラック）音声が切り換わると、曲の先頭に戻ります。
- DVD-A 2つ目の音声がなくても、通常は選んだ音声番号を2つまで表示します。(再生中の音声番号は1のままです。)

字幕

DVD-V　DVD-A（動画部のみ）
RAM（入／切のみ）　VCD（SVCDのみ）

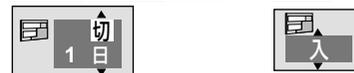
CINEMA SUBTITLE
再生中に
押す

例）DVD-V
入
1 日
0 ¦ 0
字幕言語（➡ 下記）
字幕がないとき：“- -”表示

押すたびに、字幕が切り換わります。
表示するまでに、少し時間がかかることがあります。

- 画面表示を消すには [RETURN] を押す。
- ディスクによっては、メニュー画面でのみ切換可能なものもあります。
- SVCDは、複数の音声/字幕が記録されていなくても番号が切り換わります。
- 字幕を入/切するには、[◀、▶] を押して下記をハイライトさせた後、[▲、▼] で切り換えます。

DVD-V　DVD-A　VCD

RAM
入

- 字幕位置/明るさを調整するには DVD-A　DVD-V

① 字幕アイコン表示中、[◀、▶] で“字幕位置移動”/“字幕明るさ”をハイライトさせる。
② [▲、▼] で調整する
- 字幕位置移動（0～－60）：2段階ずつ調整
- 字幕の明るさ（オート※/0～－9）

0 ¦ 0
字幕位置移動
字幕明るさ

※画面の明るさに応じて自動的に調整

映像を拡大する（ズーム）

DVD-V　DVD-A（動画部のみ）　RAM　VCD

いろいろな縦横比の映像を拡大して、お使いのテレビ画面サイズに近づけます。

準 備
“初期設定” の “TV アスペクト” をテレビに合わせて設定する。(➡ 52 ページ)

ズーム倍率を微調整するには
ズームアイコン表示中に、[▲、▼] を押す。

1.00 倍〜 1.60 倍まで 0.01 倍刻み
1.60 倍〜 2.00 倍まで 0.02 倍刻み

画像を回転する

JPEG

1
再生中に
押す

2
押して
回転方向を選び

押す

画面表示を消す
[ANGLE/PAGE] を押す。

場面/曲を番号で選ぶ

DVD-V　DVD-A　RAM　VCD　CD　WMA/MP3　JPEG

押す
WMA/MP3　JPEG は選んだあと [ENTER] を押す。

再生が始まります。
- 停止中のみ働くディスクもあります。
- DVD-A 先にグループを選びます。(➡ 24 ページ)

2 ケタ以上の番号を選ぶには
- 2 ケタ：例）25 [≧ 10] → [2] → [5]
  WMA/MP3　JPEG のみ [2] → [5] → [ENTER]
- 3 ケタ：例）125 [≧ 10] → [≧ 10] → [1] → [2] → [5]
  WMA/MP3　JPEG のみ [1] → [2] → [5] → [ENTER]

1 曲だけ再生する

VCD　CD　WMA/MP3

準 備　“1 DISC” モードにする。(➡ 17 ページ)

1
REPEAT PLAY MODE
停止中に
押して “1 TRACK” を選ぶ
1 DISC　1 TRACK　1TR

2
押す
選んだ曲が再生されます。
WMA/MP3 は選んだあと [ENTER] を押す。

解除するには
停止中に [PLAY MODE] を押して “1TR” を消す。

すべてのディスクの 1 曲目だけを再生する

VCD　CD

1
“ALL DISC” モードにする。
(➡ 17 ページ)

2
REPEAT PLAY MODE
停止中に
押して “TRACK 1” を選ぶ
ALL DISC　TRACK 1

3
DVD/CD ▶
押す
再生が始まります。

解除するには
停止中に [PLAY MODE] を押して “TRACK 1” を消す。

共通の準備

① SEQUENTIAL DISC **押し**

10秒以内
押してディスクを選ぶ

② ■ **押す**

すべてのグループを再生する

DVD-A

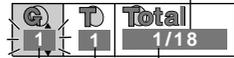
1 REPEAT PLAY MODE 停止中に
押して
"ALL GROUP"を選ぶ

押すたびに
（元の表示）→ ALL GROUP → RANDOM

2 DVD/CD ▶ **押す**
再生が始まります。

グループを選んで再生する

DVD-A WMA/MP3 JPEG

1 SHIFT ＋ GROUP ZOOM **押す**

例）WMA/MP3

2
5秒以内
押して
グループを選び

ENTER **押す**

3
5秒以内
押して
曲/静止画を選び

ENTER **押す**
再生が始まります。

グループ/曲/静止画の選択は、数字ボタンでもできます。

ボーナスグループを再生する

DVD-A

ボーナスグループ付きのDVDオーディオは、暗証番号（ジャケットなどに記載）を入力することでボーナスグループを再生できます。

① 停止中に[SHIFT]＋[GROUP]を押す。
② [▲、▼]でボーナスグループを選び、[ENTER]を押す。
暗証番号の入力画面が表示されます。
③ 数字ボタンで暗証番号を入力し、[ENTER]を押す。
まちがえたときは、[SHIFT]＋[CANCEL]を押してやり直してください。
④ [▲、▼]で曲を選び、[ENTER]を押す。
再生が始まります。

お知らせ

電源を切る、セレクターを切り換える、トレイを開けると、暗証番号の再入力が必要になる場合があります。

好みの静止画を選ぶ（ページスキップ）

DVD-A（静止画付）

SETUP ANGLE/PAGE
再生中に
押して選ぶ

くり返し再生する（リピート）

DVD-V DVD-A RAM VCD CD WMA/MP3 JPEG

ディスクによって、いろいろなくり返しモードが楽しめます。ALL DISC モードやランダムプレイモードとも組み合わせて使えます。

＋ REPEAT PLAY MODE

再生中に
押して
好みのくり返しモードを選ぶ

選んだモードで再生をくり返します。

TRACK REPEAT（1 曲）	DVD-A VCD CD WMA/MP3
GROUP REPEAT（1 グループ）	DVD-A WMA/MP3 JPEG
DISC REPEAT（1 ディスク）	RAM VCD CD WMA/MP3
ALL REPEAT（全曲）	DVD-V DVD-A VCD CD WMA/MP3
CHAPTER REPEAT（1 チャプター）	DVD-V
TITLE REPEAT（1 タイトル）	DVD-V
PG REPEAT（1 プログラム）	RAM
SCENE REPEAT（1 シーン）	RAM
PL REPEAT（1 プレイリスト）	RAM
SEQUENTIAL REPEAT（全ディスク全曲）	VCD CD WMA/MP3

HighMAT 規格に準拠して記録されたディスクでは
“CONTENT REPEAT”（1 コンテンツ）または“GROUP REPEAT”（1 グループ）が選べます。

好みの場面/曲をくり返し再生するには
① 場面/曲を好みの順に再生する。（➡ 26 ページ）
② 再生中に [SHIFT] ＋ [REPEAT] を押して“ALL REPEAT”または“SEQUENTIAL REPEAT”を選ぶ。

解除するには
[SHIFT] ＋ [REPEAT] を押し、“REPEAT OFF”を選ぶ。

順不同に再生する（ランダムプレイ）

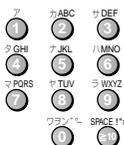
DVD-V DVD-A VCD CD WMA/MP3

1 REPEAT PLAY MODE

停止中に
押して
“RANDOM” を選ぶ

RANDOM
押すたびに
（元の表示）……… → RANDOM

ディスクによって表示する再生モードは異なります。

2 DVD-V DVD-A のみ

押して
タイトル（DVD-V）または
グループ（DVD-A）を選ぶ

DVD-A
- 複数のグループが選べます。
- すべてのグループを選ぶには、[◀、▶] で“オール”を選び、[ENTER] を押す。
- 取り消すには、数字ボタンでグループ番号を入力する。

3 DVD/CD ▶
押す
再生が始まります。

解除するには
停止中に [PLAY MODE] を押して“RND”を消す。

2 点間をくり返す（A-B リピート）

DVD-V DVD-A RAM VCD CD WMA/MP3

1 再生中に
再生設定画面にする（➡ 28 ページ）

2
押して
“A-B リピート”を選ぶ

3
始点（A）で押す

▼

終点（B）で押す

解除するには
① 再生設定画面の“A-B リピート”をハイライトさせる。
② [ENTER] を押して“＊＊”を表示させる。

準備

① [▶ DVD/CD] を押し [■] を押す。
② [SHIFT] + [SEQUENTIAL] を押して "ALL DISC" または "1 DISC" を選ぶ。

解除するには
停止中に [PROGRAM] で表示部の "PGM" を消す。

予約を変更するには
① [▲、▼] で変更する項目を選ぶ。
② 変更：手順 2〜5で選ぶ。
取り消し：[SHIFT] + [CANCEL] を押す。
("クリア" を選び [ENTER] を押しても取り消せます）

予約画面の前後のページを見るには
[ANGLE/PAGE] を押す。

すべての予約を取り消すには
[▲、▼、◀、▶] で "オールクリア" を選び、[ENTER] を押す。

お知らせ

- 電源を切る、セレクターを切り換える、トレイを開けると解除されます。

好みの順に再生する（プログラムプレイ）

最大 24 曲/チャプターまで予約できます。
"ALL DISC" モードでも "1 DISC" モードでも予約ができます。("ALL DISC" は VCD CD WMA/MP3 のみ)
"ALL DISC" モードでは全てのディスクから予約ができます。

1 AREA PROGRAM 停止中に **押す**

2 ENTER **押す**

3 ▲ ▼ "ALL DISC" 選択時 **押して ディスクを選び**
ENTER **押す**

4 DVD-V DVD-A WMA/MP3
▲ ▼ **押してグループまたはタイトルを選び**
ENTER **押す**

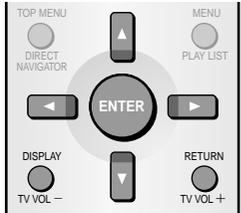
5 ▲ ▼ **押してトラックまたはチャプターを選び**
ENTER **押す**

手順2〜5をくり返し、予約を完了する

6 DVD/CD ▶ **押す**
再生が始まります。

- 手順 5で "ALL" を選ぶと全曲（ディスク、タイトル、またはグループ内の全曲）が予約されます。
- 数字ボタンでも選べます。
- ディスクに記録がない項目や数字を予約しても無効になります。

絵表示（GUI 画面）を使って操作する

G U I(Graphical User Interface)（ジー・ユー・アイ グラフィカル ユーザー インターフェース）とは「画面を見ながら操作ができる」ことを意味し、本機の場合は、この画面を「GUI 画面」と呼びます。

■ GUI 画面の位置を動かすには

[◀、▶] で一番右の矢印アイコンを選び、[▲、▼] で移動する。(5 段階)

■ 画面表示を消すには

GUI 画面が消えるまで、[RETURN] を押す。

1

DISPLAY

TV VOL −

再生中に

押して

変更したい画面表示を出す

押すたびに

ディスク情報→

プログレスインジケーター→

本機情報→

元の画面

2

「本機情報」のときのみ、

左端のアイコンが選ばれた状態で、押して

変更したい画面表示を出す

3

押して

変更したい項目を選ぶ

4

押して

好みの設定を選ぶ

数字ボタン→[ENTER] で変更できるものもあります。

ディスク情報

番号	内　容	操　作
①	PG：プログラム番号 RAM PL：プレイリスト番号 RAM G：グループ番号 DVD-A WMA/MP3 JPEG T：タイトル番号 DVD-V トラック番号 VCD CD	[▲、▼] ↓ [ENTER]
②	T：グループ内のトラック番号 DVD-A WMA/MP3 C：チャプター番号 DVD-V P：グループ内のピクチャー番号 JPEG	
③	時間指定再生 DVD-V DVD-A RAM 例）1 時間 46 分 50 秒から再生 [1]→[4]→[6]→[5]→[0]→[ENTER]	数字ボタン ↓ [ENTER]
	時間表示 DVD-V DVD-A RAM VCD CD（WMA/MP3 VCD（SVCD のみ）は経過時間のみ） → 番組/プレイリスト/タイトル/トラックの経過時間 ↓↑ グループ（DVD-A）/ディスク（VCD CD）の残り時間 ↓↑ → 番組/プレイリスト/タイトル/トラックの残り時間	[▲、▼]
④	音声番号 DVD-V DVD-A RAM (➡ 22 ページ)	

番号	内　容	操　作
⑤	字幕番号 (➡ 22 ページ) 字幕「入」「切」(➡ 22 ページ) トラック情報「入」「切」 CD テキスト WMA/MP3 静止画情報「日付」「詳細」「切」 JPEG	[▲、▼]
⑥	アングル番号 (➡ 22 ページ)	
⑦	トータルトラック（ピクチャー）番号 WMA/MP3 JPEG 再生・選択中のトラック（ピクチャー）番号/ディスク内の総トラック（ピクチャー）数	[▲、▼] ↓ [ENTER]
⑧	カラオケボーカル「入」「切」 DVD-V（カラオケ DVD のみ） デュエットディスクの「V1」、「V2」も選べます。	[▲、▼]
⑨	現在のビットレート（kbps） 現在のサンプリング周波数(kHz) WMA/MP3	変更不可
⑩	音声モード RAM VCD	[▲、▼]
⑪	メニュー再生の「入」「切」状態表示 VCD（PBC 付 VCD のみ）	変更不可
⑫	静止画番号（➡ 24 ページ） Page 1 に戻る： [◀、▶]→"Return"を選ぶ→[ENTER]	[▲、▼]
⑬	スライドショー「入」「切」 JPEG スライドショー間隔 (0～30 秒) JPEG	[▲、▼]
	スライドショー状態表示 DVD-A	変更不可

本機情報

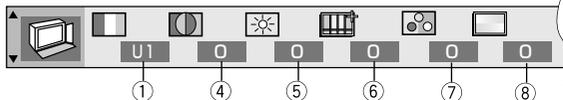
画質設定

"PROG." 点灯中のみ表示

DVD-V DVD-A RAM VCD JPEG

番号	内　容	操　作
①	画質モード N：通常 S：ソフト（ざらつきの少ない柔らかな画質） F：ファイン（輪郭の強調されたくっきりした画質） C1：シネマ1（映画館で見ているようなしっとり感） C2：シネマ2（昔の映画などをくっきり） U1/U2：ユーザー画質（➡ 下記） 各種調節ができます。	[▲、▼]
②	ビデオ出力モード（初期設定「プログレッシブ出力」が「可能」のときのみ） ● 525I：インターレース映像 ● 525P：プログレッシブ映像（"PROG." 表示点灯）	
③	表示部の "PROG." 点灯中のみ 変換モード プログレッシブ出力に変換する方式を素材に応じて使い分ける。 ● オート1（標準）：映画再生 ● オート2：オート1の変換方法に加え、30コマ/秒で記録されたプログレッシブ映像にも対応 ● ビデオ：ビデオ素材	

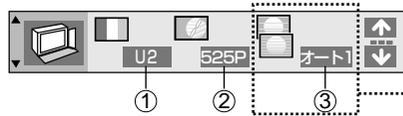
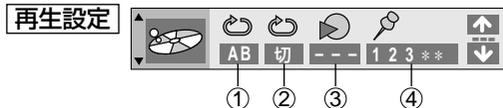
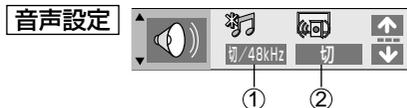
ユーザー画質モードを変更するには
1. [▶] で数字をハイライトさせる
2. [▲、▼] で "1" または "2" を選ぶ

U1：ユーザー画質調整機能

番号	内　容	操　作
④	コントラスト（－7～＋7） 白黒の強弱	[▲、▼]
⑤	明るさ（0～＋15） 画面全体の明るさ	
⑥	シャープネス（－7～＋7） 水平方向の鮮鋭度（解像感）	
⑦	カラー（－7～＋7） 色の濃さ	
⑧	ガンマ（0～＋5） 暗い部分の明るさ	

U2：ユーザー画質調整機能

"PROG." 点灯中のみ表示

① ～ ③：➡ 左記

再生設定

番号	内　容	操　作
①	A-B リピート再生（➡ 25 ページ）	[ENTER]
②	リピート再生（➡ 25 ページ）	[▲、▼]
③	再生モード DVD-V DVD-A VCD CD WMA/MP3 - - -：通常 PGM：プログラム RND：ランダム ALL：オールグループ DVD-A	変更不可
④	マーカー	21 ページ

音声設定

番号	内　容	操　作
①	ダブル リ.マスター （➡ 50 ページ）	[▲、▼]
②	ダイアログエンハンサー （➡ 50 ページ）	

MD 録音中は音声設定を操作しないでください。録音内容が途切れる原因になります。

I/P/B とは

DVD では、データを効率よくディスクに収めるため、画面間で共通するデータは共用し、異なるデータは画面ごとに記録しています。

I-picture：共用データの基準として単独で記録されるフレーム
P-picture：過去の I-picture または P-picture を元につくられるフレーム
B-picture：I/P 両方を元につくられ、両者の間をうめるフレーム

I-picture の画質がもっとも良く、画質調整をするときは、I-picture で一時停止することをおすすめします。

表示設定

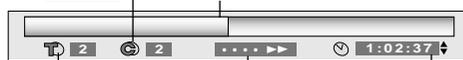
番号	内　容	操　作
①	**4:3アスペクト** DVD-V DVD-A RAM VCD JPEG プログレッシブ出力時に16:9のプログレッシブテレビへの4:3映像の表示のしかたを選ぶ ● **ノーマル：** テレビの画面幅いっぱいに引き延ばす ● **オート：** 通常は“シュリンク”に、レターボックスの映像は“ズーム”に自動的に切り換える ● **シュリンク：** テレビ画面中央に4:3の画面比のまま映す ● **ズーム：** 4:3の画面比で拡大する	[▲、▼]
②	**ズーム**（➡ 23ページ）	[ENTER] ↓ [◀、▶] ↓ [ENTER]
	ズーム倍率を微調整する	[▲、▼]
③	**字幕位置移動/明るさ** （➡ 22ページ）	[▲、▼]
④	**ビットレート表示「入」「切」** DVD-V DVD-A（動画部のみ） RAM VCD 映像の種類（I/P/B ➡ 左ページ）とビットレートの目安を表示する	[▲、▼]
	ビットレートの表示を切り換える 9.438 Mbps ▸ 動画再生時：再生画像の平均ビットレート 静止時：映像の種類とフレームのデータ量 ・ビットレート Cur. 7.507 Mbps Ave. 6.730 Mbps 5.0 Mbps 現在のビットレート サンプリング期間中のビットレート履歴 平均ビットレート	[◀、▶]
⑤	**OSD明るさ**（－3～＋3） 画面表示の明るさを調整する	[▲、▼]

プログレスインジケーター

現在どの部分を再生しているかを表します。再生中、表示部に経過時間が表示されないときは働きません。

C（チャプター） DVD-V
T（トラック） DVD-A WMA/MP3
P（ピクチャー） JPEG

例） DVD-V　現在の再生位置

T 2　C 2　• • • • ▶▶　1:02:37

再生状態/再生速度（➡ 下記）

PG（プログラム） RAM
PL（プレイリスト） RAM
T（タイトル） DVD-V
T（トラック） VCD CD
G（グループ） DVD-A WMA/MP3 JPEG

番組/プレイリスト/タイトル/トラック
経過時間⟷残り時間［▲、▼］で切り換える
（VCD（SVCDのみ） WMA/MP3 は経過時間のみ）

再生速度を微調整する

DVD-V DVD-A（動画部のみ）
（ドルビーデジタルのディスク）
セリフなどを聞きながら速く再生したり、遅く再生してしっかり聞き取りたいときなどに使います。

例）1.2倍速　×1.2 ▶

再生中
［◀、▶］を押す

速度表示の色が変わり、速度変換モードになります。
×0.8⟷×0.9⟷×1.0⟷×1.2⟷×1.4

● 以下のとき、通常再生に戻ります。
　－［▶ DVD/CD］（再生）を押す。
　－速度変換モードが“×1.0”のときにプログレスインジケーター表示を消す。
● 速度変換モード中は
　－デジタル出力が“PCM”に切り換わります。
　－アドバンスドサラウンドは働きません。
● ディスクによっては働かない箇所があります。

MD
■
❚❚ –DEMO

MD**LP**(長時間ステレオ録音/再生)について

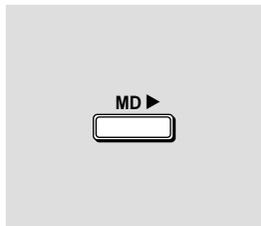
MD**LP** では、音声圧縮技術によって、長時間(2倍または4倍)のステレオ録音/再生が可能です。
録音したときのモード(SP/LP2/LP4)に従って再生します。

再生時には、表示部に次のように表示されます。
- 標準時間録音モードで録音した曲:“SP”
- 2倍長時間録音(ステレオ)した曲:“LP2”
- 4倍長時間録音(ステレオ)した曲:“LP4”

MD**LP** で録音する(➡ 36ページ)

MDを再生する

1 録音済みMDを入れる

電源が入り、途中からMDが自動的に引き込まれます。

2 押す

再生が始まります。

録音がモノラル時に点灯

再生中の曲番　再生経過時間

すでにMDが入っているときは、自動的に電源が入り、再生が始まります。（ワンタッチプレイ）

途中で止める

■ **押す**

曲数　総再生時間

一時停止する

❚❚ –DEMO **押す**

再開するには、[MD ▶] を押す。

早送り／早戻しする（サーチ）

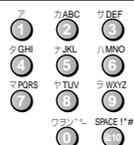
リモコンのみ

再生中/一時停止中に **押し続ける**

曲をとび越す（スキップ）

リモコンのみ

再生中/一時停止中に **押す**

曲を番号で選ぶ

リモコンのみ

押す

再生が始まります。

2ケタ以上の番号を選ぶには

- 2ケタ：例）25
  [≧10] → [2] → [5]
- 3ケタ：例）125
  [≧10] → [≧10] → [1] → [2] → [5]

くり返し再生する（リピート）

リモコンのみ

SHIFT ＋ REPEAT PLAY MODE **押して選ぶ**

“TRACK REPEAT”
1曲のみをくり返すとき
“ALL REPEAT”
全曲くり返すとき

解除するには、“REPEAT OFF” を選ぶ。

ランダムプレイ、プログラムプレイと組み合わせることもできます。
① ランダムプレイ、プログラムプレイの設定をする（➡ 32ページ）
② [SHIFT]＋[REPEAT] を押し “ALL REPEAT” を選ぶ

タイトルや残り時間を見る

リモコンのみ

押す

テレビ画面でも、本機の音量やMDのタイトルなどを確認できます。

お知らせ

- すでに漢字でタイトルが記録されているMDの場合は、テレビ画面で、MDのディスク/トラックタイトルの漢字表示が可能です。（JIS第一水準まで）
  漢字とカナを切り換えるには [DISPLAY] を押す。
- 漢字ですでにタイトルが記録されているMDの漢字部分は本機で変更できません。

MDを取り出す

押す

再生

共通の準備

① MD ▶ 押して "MD" にする

② ■ 押す

順不同に再生する（ランダムプレイ）

1 REPEAT PLAY MODE 停止中に
押して
"RANDOM" を選ぶ

RANDOM
RND

2 MD ▶ **押す**
再生が始まります。

解除するには
停止中に [PLAY MODE] を押して "RND" を消す。

好みの順に再生する（プログラムプレイ）

1 AREA PROGRAM 停止中に
押す

PROGRAM
PGM

2

押して曲番を選ぶ

2ケタ以上の番号を選ぶには

● 2ケタ：例）25
[≧10] → [2] → [5]

● 3ケタ：例）125
[≧10] → [≧10] → [1] → [2] → [5]

手順2をくり返し、予約を完了する

3 MD ▶ **押す**
再生が始まります。

解除するには
停止中に [PROGRAM] を押して "PGM" を消す。

予約を追加するには
停止中に、数字ボタンを押してトラックを選ぶ。

予約を確認するには
停止中に [⏮ ∨ SKIP ∧ ⏭] を押す。

すべての予約を取り消すには
停止中に [■] を押す。
"ALL CLEAR" が表示され、すべての予約が取り消されます。（特定の予約を取り消すことはできません。）

グループ単位で再生する

グループにまとめる

例）曲番３～９をひとつのグループにする。

1 ●AUTO REC EDIT MODE 停止中に
押して“GROUP?”を選び

GROUP?

ENTER **押す**

2 ∨ SKIP ∧ **押して“SET?”を選び**

SET?

ENTER **押す**

3 ∨ SKIP ∧ **押してグループ先頭の曲番を選び**

3?～– – –

押す

4 ∨ SKIP ∧ **押してグループ最後の曲番を選び**

3 ～ 9?

押す

5 **グループに名前を付ける**
(➡ 41 ページ)

6

押す
“UTOC Writing” の点滅後、グループ化が完了します。

ひとつのグループを解除するには
① 停止中に [EDIT MODE] を押して “GROUP?” を選び、[ENTER] を押す。
② [⏮ ∨ SKIP ∧ ⏭] を押し “RELEASE?” を選び、[ENTER] を押す。
③ [⏮ ∨ SKIP ∧ ⏭] を押して解除するグループを選び、[ENTER] を押す。
④ [ENTER] を押す。
“UTOC Writing” 点滅後、選んだグループが解除されます。

すべてのグループを解除するには
① 停止中に [EDIT MODE] を押して “GROUP?” を選び、[ENTER] を押す。
② [⏮ ∨ SKIP ∧ ⏭] を押して “ALL RELEASE?” を選び、[ENTER] を押す。
③ [ENTER] を押す。
“UTOC Writing” 点滅後、すべてのグループが解除されます。

グループの名前を変更するには
① 停止中に [EDIT MODE] を押して “GROUP?” を選び、[ENTER] を押す。
② [⏮ ∨ SKIP ∧ ⏭] を押して “TITLE?” を選び、[ENTER] を押す。
③ [⏮ ∨ SKIP ∧ ⏭] を押して名前を変えるグループを選び、[ENTER] を押す。
④ グループの名前を変更する。
⑤ [ENTER] を押す。
“UTOC Writing” 点滅後、名前が変わります。

お知らせ
「グループにまとめる」での [⏮ ∨ SKIP ∧ ⏭] の操作は [◀、▶] でもできます。

好みのグループを再生する（1 グループプレイ）

1 REPEAT PLAY MODE 停止中に
押して“1-GROUP”を選ぶ

1-GROUP
1 GRP

2 ∨ SKIP ∧ **押し続けて再生するグループを選ぶ**

G 1*My Best

3

押す
再生が始まります。

解除するには
停止中に [PLAY MODE] を押して “1GRP” を消す。

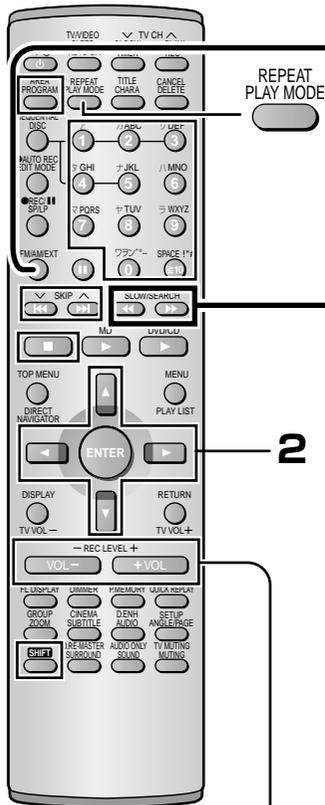
ひとつのグループをくり返し再生するには（1 グループ再生）
① 上記手順**1**、**2**をする。
② [SHIFT]＋[REPEAT] を押し、“GROUP REPEAT” を選ぶ。
③ [▶MD] を押す。
再生が始まります。

グループの頭出しをするには（グループスキップ）
停止中に、[⏮ ∨ SKIP ∧ ⏭] を押し続ける。

お知らせ
- MD に録音した複数の曲を、ひとつのグループとして管理できます。（最大 99 グループまで）
- グループ化できるのは、連続した曲（例：３曲目～９曲目）のみです。「３曲目と７曲目と９曲目」のように曲が離れている場合は、グループにできません。
- １曲だけでもグループにできます。
- １曲を複数のグループに入れることはできません。
- グループの順番は編集した順番ではなく、曲番の小さい順になります。

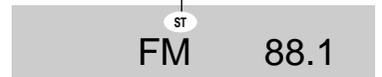
ラジオを聞く

準備 FM簡易型アンテナ、AMループアンテナを接続する。(➡ 10、11ページ)
接続しないと、放送局を受信できません。
テレビ音声(1～3チャンネルのみ)**は、FMで受信します。**

1 FM/AM/EXT

押して
"FM"または"AM"を選ぶ
電源が入り、FMまたはAMを受信します。
(ワンタッチプレイ)

2 SLOW/SEARCH または ◀ ▶

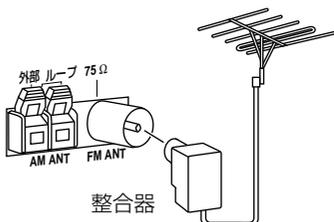
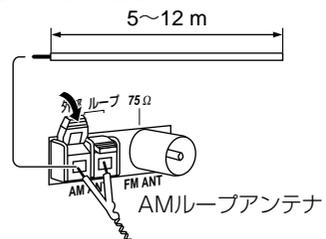
押して
好みの放送局を受信する
FMステレオ放送を受信すると点灯

ST FM 88.1

テレビの受信位置は
FM 76.0 ←……→ FM 90.0
TV 3ch ←→ TV 2ch ←→ TV 1ch

自動選局(オートチューニング)する	SLOW/SEARCH または ◀ ▶	**押し続け、周波数が動き出したら指を離す** 受信すると、周波数が止まります。 好みの放送局を受信するまで、同じ操作をくり返してください。
FMステレオ放送で雑音が多いときは	REPEAT PLAY MODE	**押して"MONO"を表示させる** 押すたびに MONO(強制モノラル)⇄消灯(自動判別) MONO FM 88.1 通常は、"MONO"を消しておきます。

音量を調節する
－ REC LEVEL ＋
VOL－ ＋VOL
押す

お知らせ
- オートチューニング中、周囲に妨害電波があると、受信せずに周波数が止まることがあります。
- 本機のTV受信回路は、FM受信回路と兼用しているため、2または3chにFM放送が混信することがあります。
- 山間部や鉄筋ビルの中など、電波の弱いところでは、屋外アンテナの設置をおすすめします。
- テレビの電源を切ると受信状態がよくなることがあります。

FM(テレビアンテナの利用)
アンテナ線(同軸ケーブル)を整合器(市販)に取り付けて、本機に接続します。
FM簡易型アンテナ(付属)は取り外します。

AM(市販のビニール電線の利用)
窓際などに水平に取り付け、本機に接続します。
AMループアンテナ(付属)は、取り外さないで、いっしょに接続します。

放送局を記憶させる

放送局をチャンネルに記憶させておくと、簡単な操作で受信できます。（FM/AM 各 15 局まで）

お住まいの地域を設定する（エリアバンク）

お住まいの地域で受信できる主なFM、AMの放送局を一度に記憶させられます。

1 ラジオ受信中に **押す**

2 **押して エリア番号（➡ 右下の表）を選ぶ**

SKIP

エリア番号は数字ボタンでも選べます。

3 **押す**

ENTER

エリア内の最初の放送局名が表示されます。

Inter FM

途中で解除するには
[■] を押す。

好みの局だけ記憶させる（マニュアルメモリー）

エリアバンク設定後の空きチャンネルに、好みの放送局を記憶させられます。

準備 [FM/AM/EXT] を押して "FM" または "AM" を選ぶ。

1 **押して周波数を合わせる**

2 **押す**

3 10秒以内 "–" 点滅中に **押してチャンネルを選ぶ**

続けて記憶させるときは、手順❶～❸をくり返す

途中で解除するには
[PROGRAM] を押す。

記憶させた放送局を聞く（プリセットチューニング）

準備 [FM/AM/EXT] を押して"FM"または"AM"を選ぶ。

押してチャンネルを選ぶ

または

エリアバンクで記憶させたチャンネルを選ぶと、放送局名が表示されます。
数字ボタンで２ケタの番号を選ぶには
例）12
[≧ 10] → [1] → [2]

エリアバンク（2003 年４月現在）

エリア番号	地域名	エリア番号	地域名
1	札幌	21	大津
2	青森	22	奈良
3	秋田	23	和歌山
4	盛岡	24	大阪圏（大阪、神戸、京都）
5	山形	25	鳥取
6	仙台	26	松江
7	福島	27	広島
8	宇都宮	28	山口
9	水戸	29	高松/岡山
10	前橋	30	徳島
11	東京圏（東京、横浜、千葉、さいたま）	31	松山
12	甲府	32	高知
13	松本	33	福岡
14	静岡	34	北九州
15	名古屋圏（名古屋、岐阜）	35	佐賀
16	津	36	長崎
17	新潟	37	大分
18	富山	38	熊本
19	金沢	39	宮崎
20	福井	40	鹿児島
		41	那覇

ディスクをMDに録音する（シンクロ録音）

準備 ① 録音用MDを入れる。（➡ 31ページ）
② 録音するディスクを各トレイに入れる。（➡ 17ページ）
③ ADVANCED SURROUNDを「切」にする。（➡ 50ページ）
④ D. RE-MASTERを「OFF」にする。（➡ 50ページ）

● **WMA/MP3を録音するときは**
1枚のディスクにWMA/MP3と静止画の両方を記録しているときは、初期設定「混在ディスク 音声＆静止画」を"音声(MP3/WMA)"にする。設定後、自動的にディスクを読み込み直します。（➡ 53ページ）

MD**LP**（長時間ステレオ録音/再生）について

SP/LP2/LP4モード

LP2 MODE

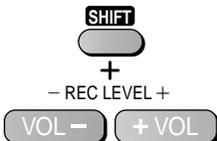
SPモード ：通常ステレオ録音モード
LP2モード：ステレオ長時間（2倍）録音モード
LP4モード：ステレオ長時間（4倍）録音モード

録音できる時間の違い

	74分のMDディスク	80分のMDディスク
SPモード	74分	80分
LP2モード	148分	160分
LP4モード	296分	320分

● 本機でLP2またはLP4で録音した曲は、MD**LP**に対応した機器以外では再生できません。
● LP4は、特殊な圧縮方式によって、長時間のステレオ録音を実現しているため、ごくまれに雑音が録音されることがあります。
音質を重視する録音を行うときは、SPまたはLP2で録音してください。
● カーオーディオがMD**LP**に対応していないときは、SPで録音してください。

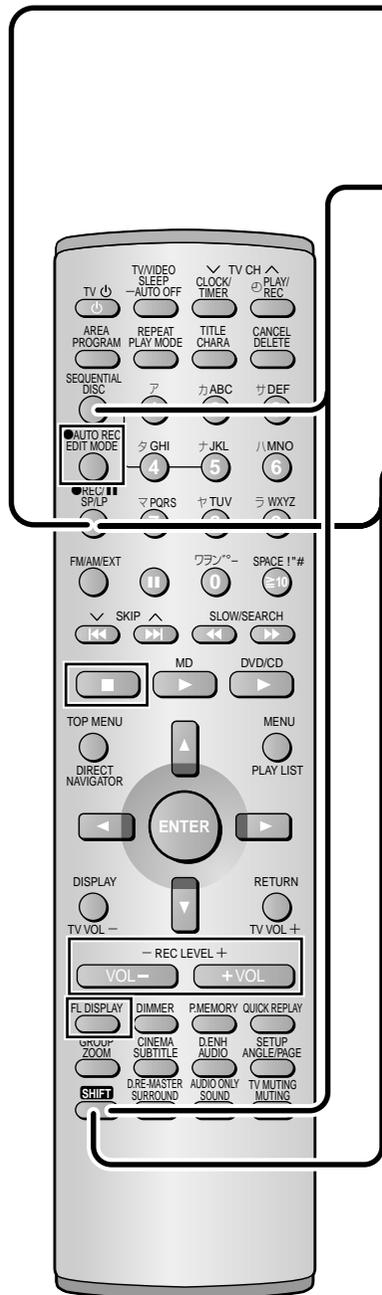
録音レベルを調整するには

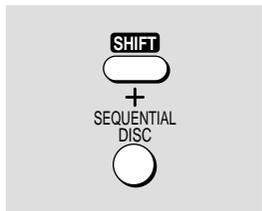
録音してみて、音量に不足を感じる場合に調整してください。

ディスクを再生中に、
押して調整する

LEVEL 0 dB

入力レベル 上限ポイント

曲中の最大音量のとき、入力レベルが上限ポイントを超えないようにします。
● 調整中、スピーカーからの音は変化しません。
● レベル表示は、ボタン操作がないと、約10秒で消えます。
● 電源を切ると、"0 dB"に戻ります。

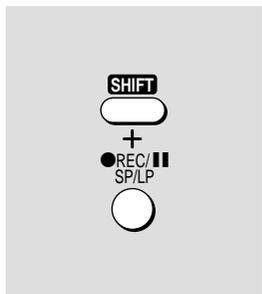
1

押して
SP/LP2/LP4 モードを選ぶ
(➡ 左ページ)

2

複数のディスクを連続録音するには

停止中に
押して
“ALL DISC”を表示させる

ALL DISC

VCD CD WMA/MP3 のみ有効です。

3

押す
ランプが点灯しているディスクの 1 曲目から録音します。(ディスクの再生が終わると、MD も自動停止)

CD 1 0 : 01

高速録音するには

“HIGH SPEED”と表示するまで
押し続ける
CD のみ有効です。

HIGH SPEED

途中で止める	■ **押す** “UTOC Writing”と表示して録音が完了します。 UTOC Writing
一時停止する	**押す** MD は一時停止し、ディスクは再生を続けます。 再開するには、もう一度押す。 (トラックマークが付きます。)
MD の残り時間を見る	FL DISPLAY **押す** MD Rem 38:00 SP/LP2/LP4 モードによって残り時間は変わります。

気に入った曲をすぐ録音する(追っかけ録音)

ディスク再生中に、[SHIFT] + [● REC/❚❚] を押す。
曲の始めに戻り、最後の曲まで順に録音して停止します。

“SCMS” ⟷ “CAN’T COPY”と表示したら

著作権保護の目的から、デジタル録音ができないことを表しています。以下の方法でアナログ録音してください。

アナログ録音をする

DVD/CD モードで [EDIT MODE] を押し、“ANALOG-REC”を選んでから録音してください。ただし、アナログ録音では高速録音できません。

お知らせ

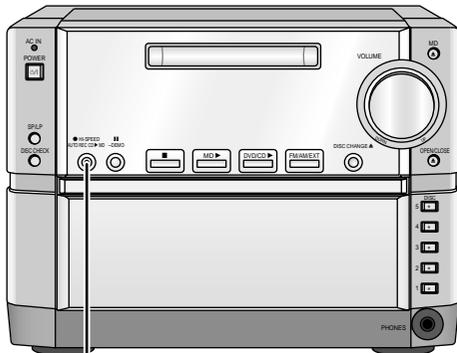
RAM VCD WMA/MP3
- 録音はアナログ録音になります。

DVD-V
- ディスクによっては部分的または全体的に録音できないディスクがあります。部分的に録音できないディスクの場合は、録音できない部分にさしかかると自動的に録音が停止します。録音できるチャプターまでスキップして録音してください。
- 録音はアナログ録音になります。

DVD-A
- 48 kHz を超える周波数のトラックは 48 kHz にダウンサンプリングされて録音されます。
  このとき光出力からは初期設定値にかかわらず 48 kHz のデジタル信号が出力されます。
- ディスクによっては部分的または全体的に録音できないディスクがあります。部分的に録音できないディスクの場合は、録音できない部分にさしかかると自動的に録音が停止します。録音できる部分までスキップして録音してください。
- デジタル録音ができない場合でも、アナログ録音で録音できる場合があります。

いろいろな録音

共通の準備

① 録音用MDを入れる
② 録音するディスクを各トレイに入れる
③ SP/LP2/LP4モードを選ぶ
(➡ 37ページ)

● HI-SPEED AUTO REC CD ▶ MD

共通の項目

途中で止めるには
[■] を押す。
“UTOC Writing” と表示して録音が完了します。

5CDイッキ録り(高速録音)

CD

ワンタッチですべてのCDをDISC 1から順に高速録音します。イッキ録りした曲は、各CD単位で、グループとして録音されます。(UTOCエリアに空きがないときは、グループになりません)

全曲でなく、途中までしか録音できないときは、録音できる範囲を表示します。(約6秒間)
例)“DISC 5 TR10” ⟷ “マデロクオンカノウ”
DISC 5に入っているCDの10曲目まで録音可能なことを表しています。
表示中に [■] を押すと、5CDイッキ録りを解除できます。SP/LP2/LP4モードを選び直すことで、全曲録音できる場合があります。

“REC RETRY 1 (または2)” と表示したら
ディスク情報をうまく読みとれなかったので、自動的に録音し直しています。表示中はボタン操作をしないでください。

“SPEED CHANGE” と表示したら
録音速度を変更しています。

“DISC CHANGE” と表示したら
ディスク交換しています。

CD→MD高速録音機能について

- この機能はCD専用です。他のディスクは高速録音できません。
- CDからMDに最大6倍速で録音します。
  ただし、ディスクや条件によっては最大速にならない場合もあります。
- 高速録音時は音声が聞こえません。

高速録音には次の制限があります

本機は、著作権保護を目的としたコピー管理システムを採用しているため、以下の制限があります。

録音終了から74分経過しないと、同じCDを高速録音できません

- 録音を途中で止めたときでも、続けて同じCDは高速録音できません。(定速録音は可能です)

一度に24枚まで録音できます

- 1枚目のCDを高速録音した後、約74分以内に、それぞれ異なる24枚のCDは高速録音できますが、25枚目の高速録音はできません。

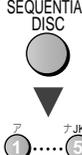
さらに高速録音しようとして、“PLEASE WAIT ○○ min.” (○○は数字) と表示したときは、○○分待ってから高速録音してください。

ディスク１枚を丸録り

DVD-V DVD-A RAM VCD CD WMA/MP3

選んだディスクの全曲を録音します。
丸録りした曲は、MDでひとつのグループになります。(UTOCエリアに空きがないときやディスクによっては、グループになりません)

準備
"1 DISC"モードにする。(➡ 17ページ)

1 SEQUENTIAL DISC **押す**
10秒以内
押してディスクを選ぶ

2 ■ **押す**
CD 10 60：12

3 SHIFT ＋ ●AUTO REC EDIT MODE **押す**
AUTO REC
CD 1 0：01 MD REC

選んだディスクの録音が始まります。

高速録音するには
"HIGH SPEED"と表示するまで
押し続ける
CDのみ有効です。

- メニュー付きのDVD/ビデオCDでは、メニュー部分だけがくり返し録音されることがあります。
- 全曲でなく、途中までしか録音できないときは、録音できる範囲を表示します。(➡ 左ページ)

好みの曲を予約して録音する（プログラム録音）

DVD-V DVD-A VCD CD WMA/MP3

1 **録音する曲を予約する**
(➡ 26ページ)

2 SHIFT ＋ ●REC/❚❚ SP/LP **押す**
CD 3 0：01 PGM MD REC

予約した曲の録音が始まります。
録音を終えたら、予約を解除してください。(➡ 26ページ)

１曲をねらい録り（1トラック録音）

VCD CD WMA/MP3

お気に入りの１曲だけを録音できます。

準備
"1 DISC"モードにする。(➡ 17ページ)

1 **左記(ディスク１枚を丸録り)手順1～2の操作で録音するディスクを選ぶ**

2 REPEAT PLAY MODE **押して"1 TRACK"を選ぶ**
1 DISC 1 TRACK 1TR

3 ∨ SKIP ∧ ⏮ ⏭ **押して曲番を選ぶ**

4 SHIFT ＋ ●REC/❚❚ SP/LP **押す**
CD 3 0：01 1TR MD REC

選んだ１曲の録音が始まります。
録音を終えたら"1 TRACK"モードを解除してください。(➡ 23ページ)

すべてのディスクの１曲目だけを録音する（トラック１録音）

VCD CD

CDシングルの１曲目だけ録音する場合などに便利です。

1 **左記(ディスク１枚を丸録り)手順1～2の操作で最初に録音するディスクを選ぶ**

2 **"ALL DISC"モードにする**
(➡ 17ページ)

3 REPEAT PLAY MODE **押して"TRACK 1"を選ぶ**
ALL DISC TRACK 1

4 SHIFT ＋ ●REC/❚❚ SP/LP **押す**
CD 1 0：01 MD REC

選んだディスクから録音が始まります。
録音を終えたら"TRACK 1"モードを解除してください。(➡ 23ページ)

共通の準備

① 録音用 MD を入れる
② SP/LP2/LP4 モードを選ぶ
(➡ 37 ページ)

録音モード

MANUAL（マニュアル）: 通常の録音モードです。

TURN BACK（ターンバック）: 頭切れを防ぐために、数秒前から録音します。

TIME MARK（タイムマーク）: 5 分おきにトラックマークが自動的に付きます。

TURN/TIME（ターンタイム）: 数秒前から録音し、5 分おきにトラックマークが自動的に付きます。

トラックマーク(➡ 60 ページ)の付けかた

録音中に好みの位置で [EDIT MODE] を押すと“TR-MARKING”と表示され、その時点にトラックマークが付きます。

1 録音するラジオ放送を受信する
(➡ 34 ページ)

2 ●AUTO REC EDIT MODE
押して録音モード（➡ 下記）を選ぶ
TURN BACK

MANUAL、TIME MARK 選択時

3 SHIFT ＋ ●REC/❚❚ SP/LP
押す
FM 88.1 MD REC
録音が始まります。

TURN BACK、TURN/TIME 選択時

3 SHIFT ＋ ●REC/❚❚ SP/LP
押す
例）TURN BACKのとき
TURN BACK
STANDBY

SHIFT ＋ ●REC/❚❚ SP/LP
録音を始める位置で押す
録音が始まります。

途中で止めるには
[■] を押す。
“UTOC Writing”と表示して録音が完了します。

一時停止するには
[SHIFT]＋[● REC/❚❚] を押す。
トラックマークが付きます。
再開するには、もう一度押す。

お知らせ

エリアバンクで記憶させたチャンネルを録音すると、放送局の名前が曲の名前（トラックタイトル）として記録されます。

文字入力のしかた

タイトル入力画面（➡ 42 ページ）にした後、入力します。

1

TITLE CHARA

押して 文字の種類を選ぶ

押すたびに

カタカナ<ア>→英大<Ａ>→英小<ａ>→数字<１>

続けて同じ種類の文字を入力するときは、この操作は不要です。

2

押して 文字を選ぶ

A　　<A>

選んだ文字が表示されます。

3

∨ SKIP ∧

押す

[◀、▶] でも操作できます。

- 文字が確定され、次の文字が入力できます。
- 次に入力する文字が、他のボタンに割り当てられている場合、この操作は不要です。

	カタカナ <ア>	アルファベット 大文字 <Ａ>	アルファベット 小文字 <ａ>	数字 <1>
ア 1	アイウエオ ァィゥェォ			1
カABC 2	カキクケコ	ABC	abc	2
サDEF 3	サシスセソ	DEF	def	3
タGHI 4	タチツテト ッ	GHI	ghi	4
ナJKL 5	ナニヌネノ	JKL	jkl	5
ハMNO 6	ハヒフヘホ	MNO	mno	6
マPQRS 7	マミムメモ	PQRS	pqrs	7
ヤTUV 8	ヤユヨ ャュョ	TUV	tuv	8
ラWXYZ 9	ラリルレロ	WXYZ	wxyz	9
ワヲン゛゜ー 0	ワヲンー			0

゛ ゜ ーを入力する

[0 ワヲン゛゜ー] を数回押す。

濁点（゛）や半濁点（゜）は、表記可能なカタカナの後ろにだけ入力できます。

記号を入力する

[≧ 10 SPACE!”#] を押す。

押すたびに下の順序で記号が現れます。

␣ ! " # $ % & ' ( ) * + , – . / : ; < = > ? @ _ `

␣ は空白を意味します。

入力済みの文字を変更する

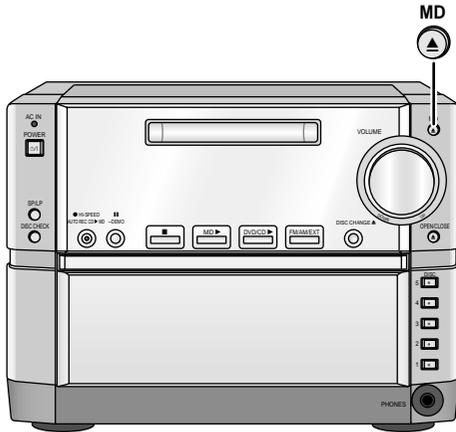
[|◀◀ ∨ SKIP ∧ ▶▶|] で変更する文字にカーソルを合わせる。

- **文字を訂正する**
  [DELETE] を押して文字を消し、新しい文字を入力する。
- **文字を削除する**
  [DELETE] を押す。

文字の間に新しい文字や空白を入れる

[|◀◀ ∨ SKIP ∧ ▶▶|] で挿入位置の右の文字にカーソルを合わせる。

- **文字を挿入する**
  新しい文字を入力し、[▶▶|] を押す。
- **1 文字あける**
  [≧ 10 SPACE!”#] を押して “␣” を選び、[▶▶|] を押す。

録音用MDには、ディスクの名前（ディスクタイトル）やグループ名（グループタイトル）、曲名（トラックタイトル）を、各100文字まで付けられます。
LP2/LP4で録音したときは、97文字になります。

共通の項目

- 再生専用MDや、未録音のMD（BLANK DISC）は使用できません。
- 漢字での編集はできません。

タイトル入力を途中で解除するには
[SHIFT]＋[TITLE]を押す。
入力モードが解除されます。
ただし、すでに[ENTER]を押して確定したタイトルは記録されています。もう一度[SHIFT]＋[TITLE]を押すと、最初からタイトル入力/修正できます。

録音済みMDにタイトルを付ける（ディスク/トラックタイトル）

準備 ① [▶MD]を押して"MD"にする。
② [■]を押す。

1 停止中に **押す**

トラックタイトル ディスクタイトル

2 SKIP **押して 曲番を選ぶ**

TR 2? TITLE

3 ENTER **押す**

■ <ア>

タイトル入力画面になります。

4 **タイトルを入力する**（➡ 41ページ）

5 **押す**

点滅後、タイトル入力が完了します。

ディスクタイトル入力時
トラックタイトルを入力できます。手順**2**以降の操作でトラックタイトルを順に入力します。

トラックタイトル入力時
次のトラックタイトルを入力できます。同じ操作でトラックタイトルを順に入力します。

6 すべての入力を終えたら **押す**

- 入力途中で録音/再生/イッキ録りが終わった場合、入力モードは解除されますが、確定したタイトルは記録されています。
- 再生中にタイトルを付けた後は、**MDの編集**（➡ 44、45ページ）ができません。編集するときは、[■]を押して"UTOC Writing"を表示させてからにしてください。

録音中またはMD再生中にタイトルを付ける（トラックタイトルのみ）

1 SHIFT ＋ TITLE CHARA
録音中またはMD再生中に
押す

TR 1 TITLE
▼
<ア>

トラックタイトル入力画面になります。

2 **タイトルを入力する**（➡ 41 ページ）

3 ENTER
押す

TITLE Writing

“TITLE Writing” と表示された後、通常の表示に戻ります。

イッキ録り中にタイトルを付ける（グループ/トラックタイトル）

イッキ録り（➡ 38 ページ）しながら、グループ/トラックタイトルを付けられます。

① イッキ録り中に [SHIFT]＋[TITLE] を押す。グループタイトル入力画面になります。

G 1 TITLE
▼
<ア>

② タイトルを入力する。（➡ 41 ページ）

③ [ENTER]を押す。トラックタイトル入力画面になります。

CD 1→MD 1
▼
<ア>

④ タイトルを入力する。

⑤ [ENTER] を押す。“TITLE Writing” と表示された後、通常の表示に戻ります。

TITLE Writing

● タイトル入力しない場合は [ENTER] でスキップできます。

他のMDにタイトルをコピーする（タイトルステーション）

MDのディスク/トラックタイトルを別のMDにそのままコピーできます。入力の手間が省けて便利です。

準備 ① [▶MD] を押して “MD” にする。
② [■] を押す。

1 **コピー元のMDを入れる**

2 ●AUTO REC EDIT MODE
停止中に
押して
“TITLE ST.?” を選び
▼
ENTER
押す

TITLE ST. ?
PRESS ENTER

3 ENTER
押す

TITLE MEMORY
▼
COMPLETE
▼
EJECT MD

4 MD ⏏
押して
MDを取り出す

5 **コピー先のMDを入れる**

Writing OK?
PRESS ENTER

6 ENTER
押す
“UTOC Writing” 点滅後、タイトルコピーが完了します。

途中で解除するには
[■] を押す。

お知らせ

● コピー元とコピー先のMDの曲数が同じときだけコピーできます。
● すでにタイトルの入っているMDにタイトルをコピーすると、以前のタイトルはすべて消えます。
● 本機が記憶できるタイトルは、MD1 枚分です。電源を切ると、記憶したタイトルは消去されます。
● LP2/LP4 で録音した曲をコピー元として使った場合、コピー先の曲がSPで録音されていると、トラックタイトルの頭に “LP: ” と表示されます。
● コピー元のMDがグループ管理されているときは、グループ管理情報もコピーされます。

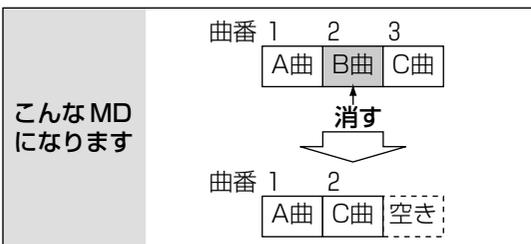
MDを編集する

曲順を入れ替えたり、不要な部分を削除したりして、自分だけのオリジナルMDが作れます。(録音用MDのみ)
グループ管理(➡ 33ページ)しているMDを編集すると、編集内容に応じてグループ管理情報も更新されます。

共通の項目

● **途中で解除するには**
[■]を押す。
● [⏮ ∨ SKIP ∧ ⏭]の操作は、[◀、▶]でもできます。

曲を消す(イレース)

1曲または数曲を消す

一度に24曲まで消せます。(超えると"SELECT OVER"と表示)

"UTOC Writing"点滅後、編集が完了します。

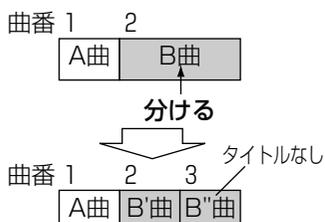
再生中でも消せます
① 消したい曲を再生中に手順❶を行う。
② [ENTER]を押す。

全曲を消す

① 停止中に[EDIT MODE]を押して"ALL ERASE?"を選び、[ENTER]を押す。
② [ENTER]を押す。

曲を分ける（ディバイド）

こんなMDになります

曲番 1 2
| A曲 | B曲 |
分ける
↓
曲番 1 2 3（タイトルなし）
| A曲 | B'曲 | B"曲 |

1 ●AUTO REC EDIT MODE
分ける曲の再生中に押して“DIVIDE?”を選ぶ

DIVIDE?

2 ENTER
分けるおおよその位置で押す

POS + 0 0 0 ?

分けた位置からの約４秒間をくり返し再生します。

3 ∨ SKIP ∧
押して位置を調節する

POS + 0 0 6 ?

前後約８秒間まで調節できます。
数値は－128から＋127の範囲で表示されます。

4
押す

“UTOC Writing”点滅後、編集が完了します。（トラックマークがひとつ増えます）

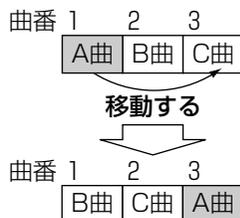
分けた曲をつなげる（コンバイン）

① [EDIT MODE] を押して“COMBINE?”を選び、[ENTER] を押す。
② [⏮ ∨ SKIP ∧ ⏭] でつなぐ曲（となり合った２曲）を選び、[ENTER] を押す。
③ [ENTER] を押す。

再生中もつなげます
① つなぐ２曲の後ろの曲を再生する。
② 上記手順 ① から順に操作する。
曲の組み合わせを選ぶ手順は、自動的にスキップされます。

お知らせ
● 異なるモード（SP/LP2/LP4/長時間モノラル）で録音された曲はつなげません。

曲を移動する（ムーブ）

こんなMDになります

1 ●AUTO REC EDIT MODE
押して“MOVE?”を選び

MOVE?

ENTER
押す

2 ∨ SKIP ∧
押して移動する曲を選び

押す

1 → －?

3
押す

1 → 3 ?

PRESS ENTER

4
押す

“UTOC Writing”点滅後、編集が完了します。

再生中も移動できます
① 移動する曲を再生する。
② 手順**1**から順に操作する。
曲を選ぶ手順**2**は、自動的にスキップされます。

タイマーを使う

共通の項目

- [⏮ ∨ SKIP ∧ ⏭] の操作は、[▲、▼] でもできます。
- [ENTER] の操作は、[CLOCK/TIMER] でもできます。

時計を合わせる

本機の時計は 24 時間表示です。
例）16 時 25 分（午後 4 時 25 分）に合わせる。

1

押して
“CLOCK -- : --” を選ぶ

CLOCK −− : −−

押すたびに
CLOCK → ◴ PLAY → ◴ REC → （元の表示）

2

10 秒以内

押して
時計を合わせる

CLOCK 16 : 25

押し続けると連続して変化します。
元の表示に戻ったときは、手順 **1** からやり直してください。

3

ENTER

時報に合わせて
押す

時計合わせが完了し、通常の表示に戻ります。

電源「切」時に時刻を見るには
時計表示になるまで [FL DISPLAY] を押す。
（約 5 秒間表示）

お知らせ

- 時計を合わせると、**デモ機能**（➡ 12 ページ）は自動的に「切」になります。
- 時計の精度には若干の誤差があります。定期的な時刻補正をおすすめします。
- コンセントを抜いたり、停電したりしたときは、もう一度設定してください。

おめざめタイマーを使う

設定した時刻になると、電源が入って指定したソース（音源）を再生し、終了時刻になると自動的に電源が切れます。一度時刻設定をしておくと、あとはソースの設定を変えるだけで使えます。

例）6時30分から7時40分まで、好みのソースを再生する。

準備 本機の電源を入れ、時計が合っていることを確認する。（➡ 左ページ）

タイマー時刻設定（24時間表示）

1

2回押して
おめざめタイマー画面にする

PLAY
0：00→→0：00

2

10秒以内
押して
開始時刻に合わせ

押す

6：30→→0：00

6：30→→6：30

3

押して
終了時刻に合わせ

押す

6：30→→7：40

タイマー実行設定

4

ソースと音量を選ぶ

① ソースを再生し、

② 音量を調節し、

③ ディスク、MDは再生を止める。

外部機器を使ったタイマー設定
[FM/AM/EXT]で“AUX”を選んだ後、外部機器を本機と同時刻に動作するように設定します。

好みの曲を再生するには MD
プログラム予約します。（➡ 32ページ）

順不同に再生するには
VCD CD WMA/MP3 MD
ランダム設定します。
（➡ 25、32ページ）

5

押して
“TIMER-PLAY”を選ぶ

PLAY
TIMER–PLAY

押すたびに
TIMER-PLAY → TIMER-REC（留守録タイマー設定時のみ）
↑――TIMER-OFF（解除）――┘

6

押して
電源を切る
電源を切らないとタイマーが動作しません。

設定した時刻になると、設定した音量までフェードイン（徐々に大きく）して、再生します。（動作中は、“◴ PLAY”が点滅）

解除するには
電源を入れ[◴ PLAY/REC]を押して“◴ PLAY”を消す。

操作をまちがえたり、設定内容を変えたりするときは
① 電源を入れ、[◴ PLAY/REC]を押して“◴ PLAY”を消す。
② 最初からやり直す。

タイマー設定した後に、再生を楽しむには
① 電源を入れ、通常の再生操作をする。
② 再生後は、必ず電源を切る。
音量やソースを変更しても、設定内容には影響しません。

お知らせ
- おめざめタイマーと留守録タイマーは同時に使えません。
- 解除しない限り、タイマーは毎日同時刻に動作します。

共通の項目

- [⏮ ∨ SKIP ∧ ⏭] の操作は、[▲、▼] でもできます。
- [ENTER] の操作は、[CLOCK/TIMER] でもできます。

おやすみタイマーを使う

指定した時間が経過すると、再生を停止し、自動的に電源が切れます。

解除するには
[SLEEP] を押して“SLEEP OFF”を選ぶ。

残り時間を確かめるには
[SLEEP] を 1 回押す。
残り時間が表示されます。（約 5 秒間）

残り時間を変えるには
[SLEEP] を押して新たに時間を指定する。

お知らせ

おやすみタイマーは、おめざめ/留守録タイマーと組み合わせて使えます。おやすみタイマーが優先するため、組み合わせるときは、予約時間が重ならないようにしてください。

電源の切り忘れを防ぐ（オートオフ）

DVD/CD や MD の停止状態で、ボタン操作のない状態が 10 分続くと、自動的に電源が切れます。

解除するには
[— AUTO OFF] を、“A.OFF”が消えるまで押し続ける。

お知らせ

- DVD/CD、MD モードでのみ働きます。ラジオを聞いているときは働きません。
- おやすみタイマーが 10 分以上残っていても、オートオフを働かせているときは、オートオフが優先します。
- 電源「切」しても解除されません。

留守録タイマーを使う

設定した時刻になると、電源が入って指定したラジオ放送を録音し、終了時刻になると自動的に電源が切れます。

例）18時30分から20時まで、好みの放送を録音する。

準備 本機の電源を入れ、時計が合っていることを確認し（➡ 46ページ）、録音用MDを入れる。

タイマー時刻設定（24時間表示）

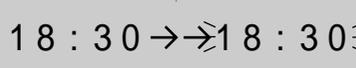
1

3回押して
留守録タイマー画面にする

2

10秒以内

押して
開始時刻に合わせ

押す

3

押して
終了時刻に合わせ

押す

タイマー実行設定

4

放送局を受信する

必要に応じて次の設定をします。
- SP/LP2/LP4モード（➡ 37ページ）
- 録音レベル（➡ 36ページ）
- 録音モード（➡ 40ページ）

外部機器を使ったタイマー設定
[FM/AM/EXT]で"AUX"を選んだ後、外部機器を本機と同時刻に動作するように設定します。

5

押して
"TIMER-REC"を選ぶ

押すたびに
TIMER-PLAY（おめざめタイマー設定時のみ）→ TIMER-REC
↑―― TIMER-OFF（解除）――┘

6

押して
電源を切る
電源を切らないとタイマーが動作しません。

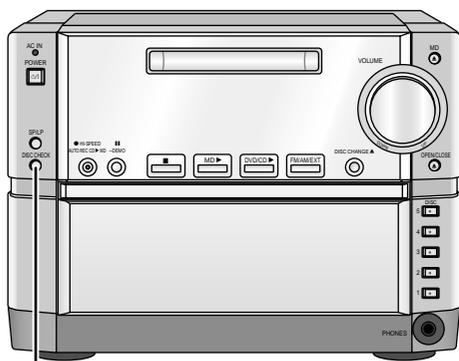
- 頭切れ防止のため、設定した時刻の30秒前になると、タイマー動作が始まります。（動作中は、"◴ REC" が点滅）
- 録音時、音量は自動的に最小になります。

解除するには
電源を入れ［◴ PLAY/REC］を押して"◴ REC"を消す。

操作をまちがえたり、設定内容を変えたりするときは
① 電源を入れ、［◴ PLAY/REC］を押して"◴ REC"を消す。
② 最初からやり直す。

タイマー設定した後に、再生を楽しむには
① 電源を入れ、通常の再生操作をする。
② 再生後は、必ず電源を切る。
音量やソースを変更しても、設定内容には影響しません。

お知らせ
- おめざめタイマーと留守録タイマーは同時に使えません。
- 解除しない限り、タイマーは毎日同時刻に動作します。
- "DVD/CD"を選ぶと、留守録タイマーは使用できません。

より高音質で聞く（AUDIO ONLY）

DVD-V　DVD-A　RAM　VCD　CD　WMA/MP3

映像信号の出力を遮断することで、より高音質で聞くことができます。

押す

解除するときは、もう一度押し、"A.ONLY"を消す。

臨場感のある音で聞く（ADVANCED SURROUND）

押して効果を選ぶ

押すたびに
→ADV SURR 1: 音に広がりを与えます。
↓
ADV SURR 2: 臨場感を与え、音に広がりと奥行きを与えます。
↓
SURR OFF（切）

次のようなときは「切」にしてください。

- 録音するとき
- 雑音が多いとき、音が歪むとき

お知らせ

- ソースによっては効果の出にくいものもあります。
- ヘッドホンでは効果がうすくなります。

より自然な音で聞く（D.RE-MASTER）

DVD-V　DVD-A　RAM　CD

（LPCM 2ch　44.1 kHz または 48 kHz で記録されたディスク）

ディスクに記録されていない高い周波数信号を付け加えることで、より自然で豊かな音質が楽しめます。

WMA/MP3　MD

（44.1 kHz または 48 kHz で記録されたディスク）

圧縮時に失われた周波数信号を再現し、圧縮前の音声に近づけます。

押して効果を選ぶ

D.RMTR 1 RMTR

押すたびに設定が切り換わります。

設定	DVD-V DVD-A RAM CD 音源に適した設定を選択	WMA/MP3 MD 効果の強弱を選択
1	テンポの早い曲 （ポップス、ロックなど）	弱
2	さまざまなテンポの曲 （ジャズなど）	中
3	テンポの遅い曲 （クラシックなど）	強
OFF	切	切

映画のセリフを聞き取りやすくする（D.ENH）

DVD-V

（センターチャンネルにセリフが入っているディスク）

押す

入

ディスクによって効果の薄いものや効果のないものもあります。
解除するときはもう１度押し、「切」にする

好みの音質効果を使う（イコライザー）

PRESET EQ を使う

４種類の音質から選べます。

1 AUDIO ONLY SOUND
"PRESET EQ" と表示するまで
押し続ける
押し続けるたびに
MANUAL EQ ⇄ **PRESET EQ**

2 AUDIO ONLY SOUND
押して効果を選ぶ

EQ → Heavy

押すたびに
- **Heavy**：ロックなど。パンチを効かせるとき
- ↓ **Clear**：ジャズなど。高音部を鮮明にするとき
- ↓ **Soft**：BGM として聞くとき
- ↓ **Vocal**：ボーカルにつやを出したいとき
- ↓ **OFF**（切）

MANUAL EQ を使う

BASS（低域）と TREBLE（高域）を調整できます。

1 AUDIO ONLY SOUND
"MANUAL EQ" と表示するまで
押し続ける
押し続けるたびに
MANUAL EQ ⇄ PRESET EQ

2 AUDIO ONLY SOUND
押して"BASS"または"TREBLE" を選ぶ
押すたびに
BASS → TREBLE →元の表示

3 − REC LEVEL ＋
VOL−　＋VOL
"BASS" または "TREBLE" 表示中に
押してレベルを調整する

BASS ＋1

上下４ステップずつ調整できます。

映画向けの画質にする（シネマ）

DVD-V　DVD-A　RAM　VCD　JPEG

SHIFT ＋ CINEMA SUBTITLE
押して効果を選ぶ

シネマ１

押すたびに
- **シネマ１**：映画館で見ているようなしっとり感、暗い場面は細部をはっきり
- ↓ **シネマ２**：昔の映画などをくっきり、暗い場面は細部をはっきり
- ↓ **ノーマル**（切）

好みの画質（ユーザー画質）での調整もできます。（➡ 28 ページ）

一時的に消音する（ミューティング）

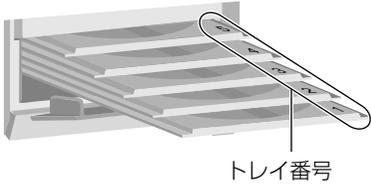
TV MUTING MUTING
押す

MUTING

解除するには
- もう一度押す。
- 音量を最小 "0" にしてから上げる。
- 電源を「切」「入」する。

トレイのディスク（12cm）を確認する（ディスクチェック）

DISC CHECK
押す
すべてのトレイが開きます。
（動作中のトレイを除く）

トレイ番号

閉めるには、もう一度押す。

ディスクチェック中は、次のことをお守りください
- ディスクを出し入れしない
- トレイを引っ張らない

表示部やランプの明るさを抑える（ディマー）

部屋を暗くして映画を見ているときなどに便利です。

DIMMER
押す
解除するには、もう一度押す。
電源を入れなおしても解除されます。

のようにアミがかかった項目は、お買い上げ時の設定です。

準備
[▶ DVD/CD] を押して [■] を押す。

3 押して項目を選び
押す

ひとつ前の画面に戻るには
[RETURN] を押す。

設定を終了するには
[SHIFT]＋[SETUP] を押す。

ディスク

■ **音声言語**
- **日本語**
- 英語
- オリジナル※1
- その他＊＊＊＊※2

■ **字幕言語**
- **オート**※3
- 日本語
- 英語
- その他＊＊＊＊※2

■ **メニュー言語**
メニューなど、テレビ画面に表示される言語が選べます。
- **日本語**
- 英語
- その他＊＊＊＊※2

■ **視聴制限**
お子さまなどに見せたくないDVDの視聴を制限できます。暗証番号を入力しない限り、再生や設定の変更はできません。
- **レベル8**：すべてのディスクが再生可
- レベル7～1：制限レベルの記録されているディスクが再生不可
- レベル0：すべてのディスクが再生不可

レベル0～7を選ぶ、または選んだあと再び"視聴制限"の項目を選ぶと、暗証番号の入力画面が表示されます。

暗証番号の入力方法
1 **数字ボタン**で4ケタの数字を入力する
2 **[ENTER]** を押す
3 暗証番号を確認し、**[ENTER]** を押す
暗証番号を忘れないでください。

- 視聴制限を超えるDVDを入れると、画面上に表示がでます。そのときは画面の指示に従ってください。

※1 "オリジナル"：ディスクの最優先言語が選ばれます。
※2 "その他＊＊＊＊"：数字ボタンで言語番号（➡ 右ページ）を入力します。
※3 "オート"："音声言語"で選んだ言語が再生されなかったときのみ、その言語で字幕を表示します。

映像

■ **TVアスペクト**
- **4:3パン&スキャン**
- 4:3レターボックス
- 16:9

■ **プログレッシブ出力**
- **不可**：プログレッシブ非対応テレビ
- 可能：プログレッシブ対応テレビ

■ **接続するTV**
- **標準（ブラウン管テレビ）**
- 3管式プロジェクター
- 液晶テレビ/プロジェクター
- プロジェクションテレビ
- プラズマテレビ

■ **スチルモード**（➡ 右ページ）
一時停止時の画像表示方法が選べます。
- **オート**
- フィールド
- フレーム

音声

■ PCM デジタル出力
- 最高 48 kHz
- 最高 96 kHz
- 最高 192 kHz

■ Dolby Digital
- Bitstream
- PCM

■ DTS Digital Surround
- PCM
- Bitstream

■ 音声のダイナミックレンジ圧縮
(ドルビーデジタルのみ)
小音量でもセリフを聞き取りやすくします。
- 切
- 入

■ 早送り時の音声
- あり
- なし(DVD-A 音声が聞こえるものがあります)

画面表示

■ 画面メニュー言語
- 日本語
- English(英語)

■ 画面メッセージ
- 入
- 切

その他

■ HighMAT 再生
- する :HighMAT 規格に準拠して記録されたディスクとして再生
- しない:WMA/MP3/JPEG ディスクとして再生

■ 混在ディスク 音声&静止画
- 音声 (MP3/WMA)
- 静止画 (JPEG)

■ DVD ビデオモード
DVD オーディオに収録された映像の再生方法を選びます。(電源を切る、セレクターを切り換える、トレイを開けると“しない”に戻ります)
- しない: DVD オーディオとして再生
- する: DVD ビデオとして再生

■ クイックセットアップ
本機の基本的な設定を、画面上での対話形式によって行います。
- する
- しない

言語番号一覧表

言語	番号	言語	番号
アイスランド	7383	タタール	8484
アイマラ	6588	タミル	8465
アイルランド	7165	タガログ	8476
アゼルバイジャン	6590	タジク	8471
アッサム	6583	チェコ	6783
アファル	6565	中国語	9072
アフリカーンス	6570	チベット	6679
アブハジア	6566	ティグリニア	8473
アムハラ	6577	テルグ	8469
アラビア	6582	デンマーク	6865
アルバニア	8381	トウイ	8487
アルメニア	7289	トルクメン	8475
イタリア	7384	トルコ	8482
イディッシュ	7473	トンガ	8479
インターリングア	7365	ドイツ	6869
インドネシア	7378	ナウル	7865
ウェールズ	6789	日本語	7465
ウォロフ	8779	ネパール	7869
ヴォラピュック	8679	ノルウェー	7879
ウクライナ	8575	ハウサ	7265
ウズベク	8590	ハンガリー	7285
ウルドゥー	8582	バシキール	6665
英語	6978	バスク	6985
エストニア	6984	パシュト	8083
エスペラント	6979	パンジャブ	8065
オーリヤ	7982	ヒンディー	7273
オランダ	7876	ビハール	6672
カザフ	7575	ビルマ	7789
カシミール	7583	フィジー	7074
カタロニア	6765	フィンランド	7073
ガリチア	7176	フェロー	7079
韓国(朝鮮)語	7579	フランス	7082
カンナダ	7578	フリジア	7089
カンボジア	7577	ブータン	6890
キルギス	7589	ブルガリア	6671
ギリシャ	6976	ブルターニュ	6682
クルド	7585	ヘブライ	7387
クロアチア	7282	ベトナム	8673
グアラニー	7178	ベロルシア(白ロシア)	6669
グジャラト	7185	ベンガル(バングラ)	6678
グリーンランド	7576	ペルシャ	7065
グルジア	7565	ポーランド	8076
ケチュア	8185	ポルトガル	8084
ゲール(スコットランド)	7168	マオリ	7773
コーサ	8872	マケドニア	7775
コルシカ	6779	マライ(マレー)	7783
サモア	8377	マラッタ	7782
サンスクリット	8365	マラヤーラム	7776
ショナ	8378	マルタ	7784
シンド	8368	マダガスカル	7771
シンハラ	8373	モルダビア	7779
ジャワ	7487	モンゴル	7778
スウェーデン	8386	ヨルバ	8979
スロバキア	8375	ラオ	7679
スロベニア	8376	ラテン	7665
スワヒリ	8387	ラトビア(レット)	7686
スンダ	8385	リトアニア	7684
スペイン	6983	リンガラ	7678
ズールー	9085	ルーマニア	8279
セルビア	8382	レトロマンス	8277
セルボクロアチア	8372	ロシア	8285
ソマリ	8379		
タイ	8472		

スチルモードのフレームとフィールドとは

フレームとは、テレビの 1 枚の画面のことです。
1 フレームは 2 枚のフィールドからなっています。

フレーム

=

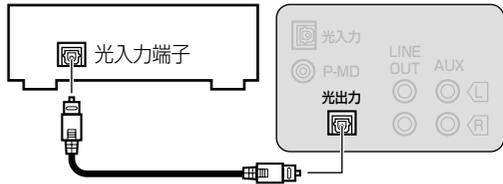
フィールド

+ フィールド

- **フレームスチル**は、画質は良くなりますが、2 枚のフィールド間でブレを生じることがあります。
- **フィールドスチル**は、情報量が少ないため、画像は少し粗くなりますが、ブレを生じません。

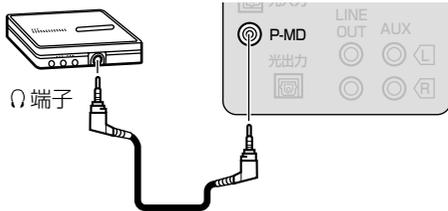
別売り機器の接続（楽しむには ➡ 56、57ページ）

AVアンプ

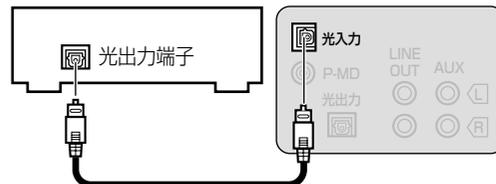
5.1チャンネル出力を持つAVアンプと接続すると、DVDをマルチチャンネルで楽しめます。

光デジタルケーブル（別売り：RP-CA2010A、1 m）

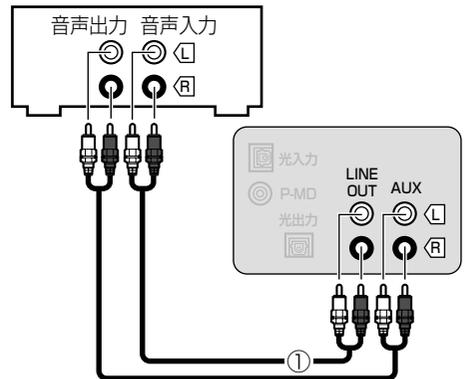
お知らせ

光出力端子からは、DVD/CD以外の音声は出力されません。

ポータブルMD

MDネットワーク対応MDネットワークコード（別売り：RP-CAM9G15、1.5 m）

MDネットワーク非対応ミニ・ミニラインコード（別売り：RP-CAM3G15、1.5 m）

BS/CSチューナー

光デジタルケーブル（別売り：RP-CA2010A、1 m）

カセットデッキ/アナログプレーヤー

ステレオピンコード（別売り：RP-CAP3G10、1 m）

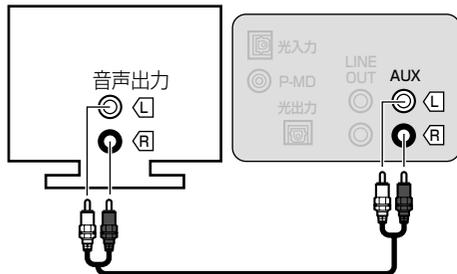
アナログプレーヤーと接続するときは

- LINE OUT端子への接続（①）は不要です。
- フォノイコライザー内蔵のプレーヤーが必要です。
  推奨品：当社製アナログプレーヤー SL-J8（フォノイコライザー内蔵）
  お手持ちのプレーヤーにフォノイコライザーがないときは、フォノイコライザー（サービスルート扱い：品番 RFKZ0088KIT）が必要です。そのままつなぐと音が小さくなります。

お知らせ

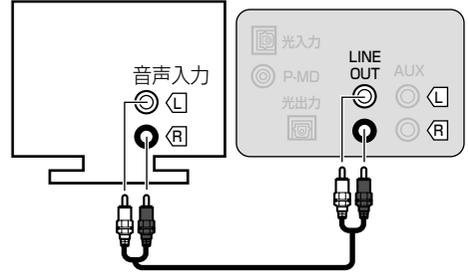
- カセットデッキ/アナログプレーヤーは、同時に接続できません。
- LINE OUT端子からは、AUX端子に接続した機器の音声は出力されません。

テレビとの接続（音声）

テレビ音声を本機のスピーカーで楽しむとき

ステレオピンコード（別売り：RP-CAP3G10、1 m）

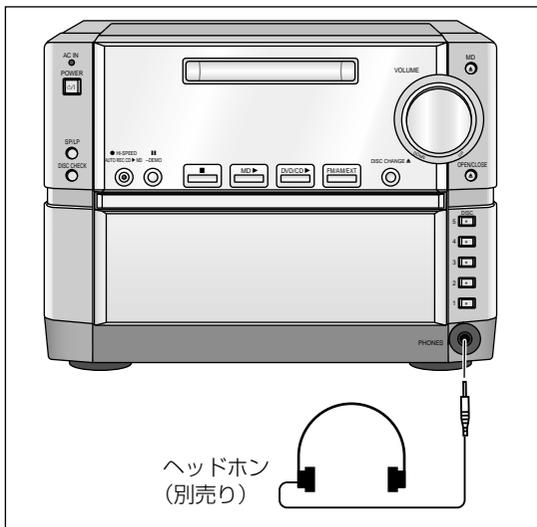
お知らせ

ステレオピンコードとビデオコードは束ねてください。ノイズの発生を軽減します。

本機音声をテレビのスピーカーで楽しむとき

ステレオピンコード（別売り：RP-CAP3G10、1 m）

お知らせ

ステレオピンコードとビデオコードは束ねてください。ノイズの発生を軽減します。

ヘッドホンを使う

● プラグタイプ：ステレオミニ（M3）
● 推奨品： RP-HT530、RP-HT242
（ともに別売り）
① 音量を下げる。
② PHONES 端子に接続し、音量を調節する。

お願い

耳を刺激するような大きな音量で長時間聞くことは避けてください。

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。

音のエチケット
シンボルマーク

本機のリモコンでテレビを操作する

当社製のテレビを、本機のリモコンで操作できます。（一部機種を除く）
各操作について、くわしくはお手持ちのテレビの説明書をご覧ください。

操作	ボタン
テレビの電源を入/切する	SHIFT ＋ TV ⏻
テレビのテレビ/ビデオ入力を切り換える	SHIFT ＋ TV/VIDEO SLEEP −AUTO OFF
テレビのチャンネルを選ぶ	SHIFT ＋ TV CH ∨ CLOCK/ TIMER ／ ∧ PLAY/ REC （数字ボタンでは選べません）
テレビの音量を調節する	SHIFT ＋ DISPLAY（TV VOL −）／ RETURN（TV VOL ＋）
テレビの音量を一時的に消音する	SHIFT ＋ TV MUTING MUTING

録音モード
（ポータブル MD 使用時は、MANUAL と SYNCHRO のみ）

MANUAL（マニュアル）：通常の録音モードです。

SYNCHRO（シンクロ）※：別売り機器で再生が始まると、自動的に録音を開始するモードです。無音部が約３秒続くと一時停止し、再生が再開すると、録音も再開します。録音開始位置にトラックマークが付きます。

TURN BACK（ターン バック）：頭切れを防ぐために、数秒前から録音します。

TIME MARK（タイム マーク）：５分おきにトラックマークが自動的に付きます。

TURN/TIME（ターン/タイム）：数秒前から録音し、５分おきにトラックマークが自動的に付きます。

※ テレビ、有線放送、CS/BS チューナーなどの放送局を録音するときや、録音する曲の種類によっては、SYNCHRO モードを使うと、曲の最初の部分が録音されなかったり、レベルの低い曲では途中で止まったりすることがあります。この場合は、MANUALモードで録音してください。

本機から別売り機器に録音する

別売り機器の説明書もご覧ください。
① 別売り機器で録音を始める。
② 本機でソースを再生する。
本機の AUX 端子に接続した機器へは録音できません。

別売り機器を本機のスピーカーで楽しむ

準備　テレビ、BS/CS、有線を楽しむときは、放送を受信する。

1 FM/AM/EXT　**押して “AUX” または “OPT IN” を選ぶ**

2 REPEAT PLAY MODE　OPT IN 選択時のみ
押して レベルを選ぶ
OPT NORMAL ：通常の場合
OPT HIGH ：BS/CS などで音量が小さい場合

3 **別売り機器で再生を始める**

別売り機器から本機に録音する

準備　① テレビ、BS/CS、有線を録音するときは、放送を受信する。
② 録音用 MD を入れる。

1 **上記手順1、2をする**

2 ●AUTO REC EDIT MODE　**押して 録音モードを選ぶ**（➡ 左記）

3
SHIFT ＋ ●REC/▮▮ SP/LP　**押す**
選んだ録音モードによって操作が異なります。
- MANUAL、TIME MARK では
  録音が始まります。
- SYNCHRO では
  録音待機状態になります。
- TURN BACK、TURN/TIME では
  “STANDBY” と表示します。録音を始める位置で、[SHIFT] ＋ [● REC/▮▮] を押します。

4 **別売り機器で再生を始める**
SYNCHRO 選択時は、音の出始めから録音が始まります。

ポータブル MD から本機の MD に録音する

MD ネットワーク対応のポータブル MD

本機からポータブル MD をコントロールして、録音とタイトルコピーができます。

準備 ① ポータブル MD に録音元の MD を入れる。
② 本機に録音用 MD を入れ SP/LP2/LP4 モードを選ぶ。（➡ 37 ページ）

1
押して “P-MD” を選ぶ

P–MD （ 1 2 Tr)
ポータブル MD 側の総曲数

ポータブル MD は自動的に適切な音量・フラットな音質になります。

2
1 曲ずつ録音するときのみ
押して 録音する曲を選ぶ

選んだ曲が確認の意味で再生されます。

3
押す

録音が始まります。
- **全曲録音では**
  全曲録音すると自動停止します。
- **1 曲ずつの録音では**
  曲の最初から録音し、1 曲録音すると自動停止します。必要に応じて手順 2、3 をくり返してください。

一般的なポータブル MD

1
●AUTO REC EDIT MODE

左記の準備と手順 1 の後、押して録音モードを選ぶ
（➡ 左ページ）

2
押す

P–MD → MD
MD REC

3 ポータブル MD で再生を始める

SYNCHRO 選択時は、音の出始めから録音が始まります。

ビジュアル/タイトルプリンター [対応品：SH-CP30（別売り)] を使う

MD に付けたタイトルのデータを利用して、MD のラベルを印刷できます。
[▶ MD] を押して “MD” を選び [■] を押す。
P-MD 端子に接続する。
くわしくは、ビジュアル/タイトルプリンターの説明書をご覧ください。

MD ネットワーク機能について

カタログに、このマークが付いている製品です。

- MD ネットワーク機能は、ポータブル MD と DVD/MD ステレオシステムの組み合わせで働きます。DVD/MD ステレオシステム同士では働きません。
- “P-MD ERROR” と表示したときは、ポータブル MD の電池残量や接続を確認し、もう一度 [FM/AM/EXT] で “P-MD” を選ぶ。
- 録音が終了して約 4 分たつと、ポータブル MD は節電のため、自動的に電源が切れます。（“P-MD” が点滅）
  再び通信を確立するには [FM/AM/EXT] で “P-MD” を選ぶ。
- 録音終了後は電池の消耗を防ぐため、MD ネットワークコードを抜いてください。
- ソースや録音方法によっては録音時間に誤差が生じる場合があります。

お知らせ
- 次の場合は、ポータブル MD 側のディスクタイトルがコピーされません。
  －1 曲ずつ録音したとき
  －本機側の MD にディスクタイトルやグループ管理情報が入っているとき
- グループ管理機能のないポータブル MD では、グループタイトルが正しくコピーされないことがあります。
- 再生専用 MD のタイトルはコピーされません。
- SP/LP2/LP4 の各モードはコピーされません。本機で選んでいるモードになります。
- 高速録音はできません。
- タイマーと組み合わせて使うことはできません。

ジャケット上のマークについて

イラストは一例です。

■ 画面サイズ（横：縦）

マーク	説明
4:3	● 標準（4：3）サイズ
LB	● レターボックス 4：3で上下に黒い帯が入った画面
16:9 LB	● ワイド（16：9）サイズ 標準（4：3）サイズのテレビではレターボックス（上下に黒い帯のある画面）で再生
16:9 PS	● ワイド（16：9）サイズ 標準（4：3）サイズのテレビではパン&スキャン（両側または片側が切れた画面）で再生

■ 記録されている音声の種類

マーク	説明
DOLBY DIGITAL	本機は、ドルビーデジタル/DTSの5.1チャンネルデコーダーを内蔵しています。 本機では、これらのロゴがついたディスクを2チャンネルの音声で楽しめます。

■ その他

マーク	説明
2	音声数
2	字幕数
	アングル数

Windows Media、Windowsロゴは米国その他の国で米国Microsoft Corporationの登録商標または商標になっています。WMA（Windows Media™ Audio）とは米国Microsoft Corporationで開発された圧縮フォーマットです。これによりMP3より小さいファイルサイズで同等の音質が実現できます。

HighMAT、HighMATロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

MPEG Audio Layer3音声圧縮技術は、Fraunhofer IIS および THOMSON multimedia からライセンスを受けています。

WMA/MP3/JPEG/CDテキスト

本機での制限

- 使用できるフォーマット：ISO9660 level 1及びlevel 2（拡張フォーマットを除く）
- マルチセッションに対応していますが、セッション数が多いと、再生が始まるまでに時間がかかることがあります。セッション数は少なくすることをおすすめします。
- 8階層より深い階層にあるグループは、8階層目と同じ列に表示されます。
- 表示可能な漢字は、JIS第一水準のみです。それ以外の漢字は“＿（アンダーバー）”で表示されます。
- メニュー画面での表示順は、パソコンのディスプレイでの表示順と違うことがあります。
- ディスクの作り方によっては、順番通りに再生できないこともあります。

WMA

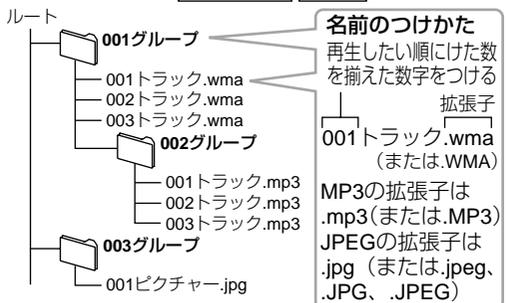
- 著作権保護されたファイルは再生できません。
- 情報部にJPEGなど大きなデータが入っていると、再生できない場合があります。
- 再生できないファイルを選んだときは、表示部に“TRACK PROTECTED”または“CANNOT PLAY”と表示されます。

MP3

- 静止画データの入ったMP3ファイルを再生すると、曲が再生されるまでに時間がかかることがあります。その間の再生経過時間は表示されません。曲の再生が始まっても正確に時間が表示されないことがあります。
- ID3タグには対応していません。

JPEG

- DCF（Design rule for Camera File system）規格準拠のデジタルカメラで撮影したJPEGデータを表示します。（デジタルカメラの自動回転機能などを使用した場合、DCF規格にあてはまらないデータとなり、画像が表示されないことがあります。）
- パソコンの画像編集ソフトなどで加工、編集、再保存したデータは表示できないことがあります。
- MOTION JPEGなどの動画やJPEG以外の静止画（TIFFなど）および音声付画像は再生できません。

再生される順番 WMA/MP3 JPEG

ただし、順番通りに再生できないことがあります。

CDテキスト

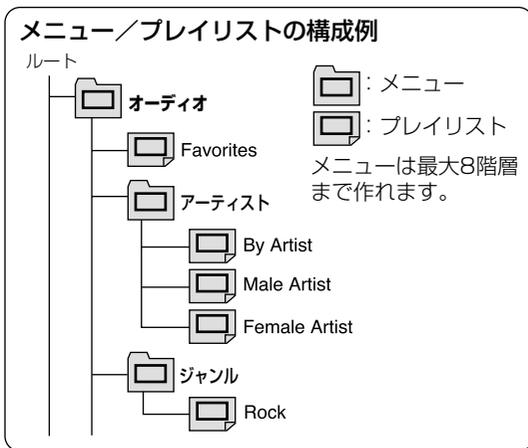
市販のソフトなどで作成したCDテキストは、作成したトラック順に再生されます。

お知らせ

- WMA/MP3：グループ数99、トラック数999まで再生できます。
  JPEG：グループ数300、ピクチャー数3000まで再生できます。
  ただし、階層の深いフォルダが複数あるときは、フォルダ/ファイルを認識できないことがあります。
- WMA/MP3とCD-DAの両形式が同一ディスクに記録されている場合は、最初のセッションに記録されている形式のみ再生します。

HighMAT規格に準拠して記録されたディスクについて

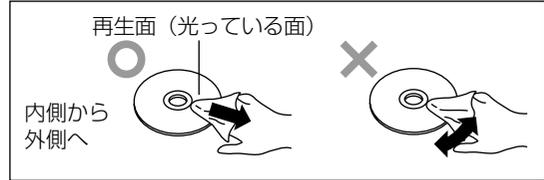
- HighMAT規格は、音声/画像/動画のファイルをCD-R/RWに記録するときの新しい管理フォーマットです。
- 本機では、WMA/MP3の音楽ファイルとJPEGの静止画ファイルが記録されたディスクを再生することができます。
- HighMAT規格に対応したパソコンソフトでディスクを作成するときは、記録するファイルに曲名やアーティスト名などの情報をつけたり、プレイリストの設定なども合わせて収録することができます。
- 作成されたディスクでは、多彩なメニュー操作により、ファイル選択などを簡単に行うことができます。
- 作成されたディスクは、パソコンと本機と共通で使うことができます。
- HighMAT規格に準拠して記録されたディスクを作るためには、Windows XPがインストールされたパソコンが必要です。(HighMAT：High performance Media Access Technology)
- 再生できないファイルを選んだときは、表示部に"CONTENT PROTECTED"または"CANNOT PLAY"と表示されます。

作成方法については下記ホームページをご参照ください。
http://panasonic.jp/support/

ディスクの扱い

■ 汚れたときは

DVDオーディオ、DVDビデオ、ビデオCD、CD

水を含ませた柔らかい布でふき、あとはからぶきしてください。

推奨品：**クリーニングクロスVUA7091**
（サービスルート扱い）

DVD-RAM、DVD-R

- 必ず専用の**DVD-RAM/PDディスククリーナーLF-K200DCJ1**（別売り）、**RFKZ0093**（サービスルート扱い）でふいてください。使い方は、ディスククリーナーの説明書をご覧ください。
- 布やCD用クリーナーなどは絶対に使わないでください。

■ 露がついたら

急に暖かい室内に持ち込んだときなど、露がついた場合は、乾いた柔らかい布でふいてください。DVD-RAM、DVD-Rは、専用のクリーナー(上記)でふいてください。

■ 取扱上のお願い

ディスクそのものの破損の原因となるほか、機器の故障の原因ともなりますので、次のことを必ずお守りください。

- レーベル面にシール、ラベルを貼らない（ディスクにそりが発生し、使用できない場合があります。）
- シールやラベルがはがれたり、のりがはみ出しているレンタルディスクなどを使わない
- そっていたり、割れたりひびが入っているディスクを使わない
- 再生面には手を触れない
- 鉛筆やボールペンなどで字を書かない
- レコードクリーナーやシンナー、ベンジン、アルコールでふかない
- 傷つき防止用のプロテクターなどを使わない
- ハート型など、特殊形状のディスクを使わない

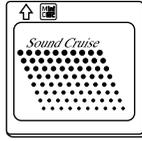
■ 次のような場所に置かない

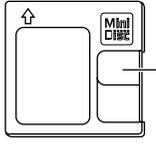
- 直射日光の当たる場所
- 湿気やほこりの多い場所
- 暖房器具の熱が直接当たる場所

MDについて

MDの種類

■ 再生専用MD

録音できません。
ピットという小さなくぼみの有無でデータが記録されています。この方式のMDを「光ディスク」といいます。

■ 録音用MD

磁気によってデータを記録します。この方式のMDを「光磁気ディスク」といいます。

シャッター

MDの録音・編集について

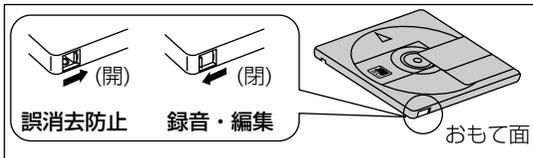
■ テープとは違います

録音済みのMDは、自動的に前の録音部分の続きから録音しますので、テープのように無録音部分を探す必要はありません。
ディスクがいっぱいになったときは、イレース（消去機能）で、いらない曲を消してから録音します。（上書き録音はできません）

■ MD 1枚への録音曲数は 、収録時間内で最大254曲までです

ただし、MDは2秒以下の音声を録音する場合にも約2秒間の領域を使用するため、実際に録音できる時間は少なくなることがあります。

■ 大切な録音を消さないために

MDの誤消去防止つまみを、穴が開く方向へずらします。新たに録音、編集するときは閉じてください。

■ デジタル録音の制限について

デジタル接続での録音には、SCMS（シリアル・コピー・マネージメント・システム）という制限があります。
CDなどからMDにデジタル録音すると、信号劣下の少ないクリアな録音が得られます。そこで、著作権保護のため、このMDから、さらに別のMDへはデジタル録音できないようになっています。（“コピーのコピー”の禁止）
なお、アナログ録音には、このような制限はありません。

■ 録音、編集時のお願い

録音や編集、タイトル入力を行っているときは、機器を振動させたり、電源コードを抜いたりしないでください。“UTOC Writing”の点滅中に電源が切れたり、振動があると、録音・編集・タイトル入力がMDに正しく記録されません。

よく出てくるMD用語

■ トラックマーク

録音部分に記録される“区切り”のことです。ある区切りから次の区切りまでが1曲と数えられます。
トラックマークは録音時に自動的に記録されたり、自分で自由につけることもできます。
トラックマークを入れることで、1枚のMDに最大254曲まで記録することができます。

■ TOC（トック）（Table of Contents）

MDには、音声信号を記録する領域とは別に、曲数や演奏時間などを記録する領域があり、そこに書き込まれた内容をTOC情報といいます。

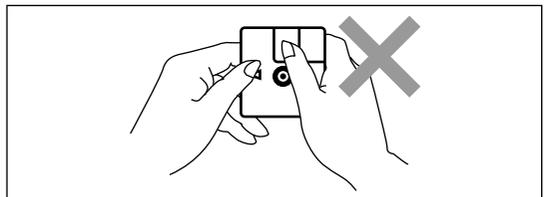
■ UTOC（ユートック）（User Table of Contents）

利用者が自由に書き換えられるTOCです。入力した文字や、編集した結果などを記録します。
MDにUTOC情報が書き込まれているとき、“UTOC Writing”と表示され注意を促します。

■ MARKING（マーキング）

録音中にトラックマークを記録することです。
本機が曲の変わり目を判断してマーキングします。

取扱上のお願い

- 指定外の場所にラベルを貼らない
  （また、ラベルやテープの糊がはみ出したり、はがした跡のあるMDは、故障の原因になりますので機器に入れないでください。）
- シャッターは開かない
  （万一開いてしまったときは、すぐに閉じてください。中の円盤には、直接手を触れないでください。）

保管

■ 次のような場所に置かない

- 直射日光の当たる場所
- 湿気やほこりの多い場所
- 暖房器具の熱が直接当たる場所

MDの制約について

症　状	原　因
コンバイン/ディバイド機能が使えないことがある。	部分録音/部分消去をくり返したMDに録音すると、MD上のデータとしては分断されて記録されるため、左記のようなことが起こる場合があります。また、SP/LP2/LP4の異なるモードで記録された曲ではコンバインできません。
曲を消しても残り時間が増えない。	
早送り/早戻しすると、音の途切れることがある。	

プログレッシブ対応テレビ一覧

テレビタイプ	品番（TH-）		
BS デジタルハイビジョン	36DH200、	36DH100、	36D100、
	36D30、	36D20、	36D10、
	32D100、	32D30、	32D20、
	32D10、	28D30、	28D20、
	28D10		
ハイビジョン	36FH10、	36FH1、	36HG1、
	32FH10、	32FH1、	32HG1、
	28HW3、	28HW2	
プログレッシブワイド	36FP50、	36FP30、	36FP25、
	36FP10、	36FP20、	36FP15、
	32FP50、	32FP30、	32FP25、
	32FP20、	32FP15、	32FP10、
	32FS10、	28FP50、	28FP30、
	28FP25、	28FP20、	28FP15、
	28FS10、	32FY10、	28FY10
プログレッシブ	33FP2、	29FP5、	29FP3、
	29FP2		
DVD ビデオ内蔵ワイド液晶	15DT2、	15DTX1、	15LV1
ワイド液晶	22LT1、	15LT1、	32LX10
	22LH10		
4 ：3 液晶	20TA3、	17TA3、	14TA3
プラズマディスプレイ	50PXS10、	42PXS10、	50PX10、
	42PX10、	50PH50、	50PH3、
	42PD2、	37PD10、	37PD2、
	42PM2、	37PM2、	42PM50、
	42PM30、	42PM20、	37PM50、
	37PM20、	42PAS10、	37PAS10、
リアプロジェクター	48FH10、	47FP10	
液晶プロジェクター	AE300、	AE200、	AE100

（2003 年 4 月現在/当社製テレビのみ）
他社の対応テレビについては、該当メーカーに、「DVD プログレッシブ出力のコピーガードシステム（マクロビジョン方式）に対応している 525P 映像入力端子が付いているか」をご確認ください。

お手入れ

■本機が汚れたら
柔らかい布でふいてください。
ひどい汚れは、薄めた台所用洗剤（中性）を含ませた布でふき、後はからぶきしてください。
- アルコールやシンナーは使わないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

■ MD レコーダー部
専用クリーナー（別売り）でときどき清掃されることをおすすめします。
推奨品：
MD レンズクリーナー（品番 RP-CL310）
MD 録音ヘッドクリーナー（品番 RP-CL320）

■ DVD/CD プレーヤー部
- 使用環境により異なりますが、レンズをクリーニングする必要はありません。
- 誤動作の原因になるため、市販のレンズクリーナーを使わないでください。

主な仕様

本体部（SA-PM2DVD）

■ アンプ部
実用最大出力（両 CH 動作）：25 W + 25 W
（全高調波ひずみ率 10 %, 6 Ω）
LOW：13 W + 13 W
HIGH：12 W + 12 W

■ FM チューナー部
受信周波数帯域：76.0 ～ 90.0 MHz (100 kHz ステップ)
TV 1 ch、2 ch、3 ch
アンテナ端子：75 Ω(不平衡型)

■ AM チューナー部
受信周波数帯域：522 ～ 1629 kHz (9 kHz ステップ)

■ DVD/CD 部
ディスク：8 cm /12 cm
DVD-RAM（DVD-VR 規格対応のディスク）
DVD-Audio
DVD-Video
DVD-R（DVD-Video 規格準拠）
スーパービデオ CD（IEC62107 準拠）
ビデオ CD
音楽用 CD（CD-DA）
CD-R/RW（CD-DA、ビデオ CD、スーパービデオ CD、MP3、WMA、JPEG、HighMAT レベル 2）
MP3/WMA 再生可能な最大トラック数：999 トラック
再生可能な最大グループ数：99 グループ
MP3 ビットレート：32 kbps ～ 320 kbps
WMA ビットレート：48 kbps ～ 192 kbps
JPEG Exif Ver2.1 JPEG ベースライン方式準拠
再生可能な最大画像数：3000 画像
再生可能な最大グループ数：300 グループ
画像解像度：320 × 240 ～ 6144 × 4096
（サブサンプリング：4:2:2、4:2:0）
HighMAT レベル 2（音声、静止画）
映像
信号形式：NTSC
映像出力：出力レベル 1 Vp-p（75 Ω）
S 映像出力：Y 出力レベル 1 Vp-p（75 Ω）
C 出力レベル 0.286 Vp-p（75 Ω）
D1 / D2 映像出力：Y 出力レベル 1 Vp-p（75 Ω）
PB/CB 出力レベル 0.7 Vp-p（75 Ω）
PR/CR 出力レベル 0.7 Vp-p（75 Ω）
ピックアップ 光源：半導体レーザー
波長：CD/VCD 790 nm、DVD 658 nm

■ MD 部
形式：ミニディスクデジタルオーディオシステム
記録方式：磁界変調オーバーライト方式
読取方式：半導体レーザー(波長 =780 nm) による非接触光学式
サンプリング周波数：44.1 kHz
圧縮／伸張方式：ATRAC/ATRAC3 (MDLP) 方式
チャンネル数：2 チャンネルステレオ
ワウ・フラッター：測定限界以下
録音再生時間（80 分 MD 使用）：SP 80 分、LP2 160 分、LP4 320 分

■ 総合
電源：AC 100 V 50/60 Hz
消費電力：60 W
寸法（幅 × 高さ × 奥行）：200 × 149 × 365 mm
質量：約 5.6 kg

電源スタンバイ時の消費電力 ：約 0.4 W

スピーカー部（SB-PM2）

形式：2 ウェイ 2 スピーカーバスレフ型
ウーハー：10 cm コーンタイプ
ツイーター：6 cm リングシェーブドドームタイプ
インピーダンス
LOW：6 Ω
HIGH：6 Ω
許容入力
LOW：30 W (Music)
HIGH：30 W (Music)
出力音圧レベル：84 dB/W (1.0 m)
再生周波数帯域：50 Hz ～ 50 kHz (–16 dB)
60 Hz ～ 45 kHz (–10 dB)
寸法（幅 × 高さ × 奥行）：145 × 274 × 232 mm
質量：約 2.6 kg

注）この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

ドルビーラボラトリーズの米国及び外国特許に基づく許諾製品。

Q & A（よくあるご質問）

	Q（質問）	A（回答）	参照ページ
他の機器との接続	テレビにS端子、D端子、コンポーネント端子があるが、どれに接続したらいいのか	D端子、コンポーネント端子に接続すると、DVDに記録されたままの状態で本機から信号を出力するため、S端子に接続するより、さらに忠実に色を再現します。D端子とコンポーネント端子では映像の質に差はありません。	12
	手持ちのアナログプレーヤーをつなぎたい	現在、アンプの「フォノ」または「プレーヤー」端子に接続している場合は、フォノイコライザーアンプ（サービスルート扱い品番：RFKZ0088KIT）が必要です。 そのまま接続すると、音が小さくなります。	54
	有線放送をつなぎたい	後面の「AUX」端子に接続します。	54
	他のスピーカーをつなぎたい	付属のスピーカー以外はご使用になれません。 本機は、本体と付属スピーカーの組み合わせにより、正しい特性の音が得られます。他のスピーカーを使用すると、故障の原因になるほか、低音が出ないなど、正しい特性の音が得られません。	--
DVD	5.1chサラウンドを楽しみたい	後面の光出力端子にデコーダー内蔵のAVアンプを接続してください。	54
	海外で買ったDVDビデオは再生できるか	リージョン番号が「ALL」または「2」を含んでいて、映像方式がNTSCであれば再生できます。ディスクのジャケットをお確かめください。	7
	リージョン番号がないディスクは再生できるか	DVDのリージョン番号は、ディスクが規格に適合していることを表しています。規格外のディスクは再生できません。	7
	ビデオテープに録画できるか	ほとんどのDVDにはコピー禁止処理が施されているため録画できません。	--
MD	MDネットワークに対応している機器は？	MD NETWORK カタログにこのマークの付いている製品が対応しています。	--
	MDに長時間録音する方法は？	[SP/LP]を押して“LP2”または“LP4”を表示させます。 あとは、通常の録音操作をしてください。	37
	MDの残り時間を知りたい	残り時間表示になるまで[FL DISPLAY]を数回押してください。	37
	録音中に音量や音質を変えたらどうなる？	録音中に音量や音質を調節して、スピーカーからの音を変えても、録音される音には影響しません。 ただし、録音中にGUI画面を操作すると、音に影響する場合があります。	--
	LP2、LP4で録音されたMDはどのプレーヤーでも再生できる？	MD**LP**に対応していないプレーヤーでは再生できません。曲のタイトルの先頭に“LP:”と表示され、無音で再生されます。	--
	他のMDプレーヤーで再生するとディスクタイトルが正しく表示されない	グループ編集をしたMDをグループ未対応のプレーヤーで再生すると、ディスクタイが正しく表示されません。	--
他	引っ越しするのだがそのまま使えるか	東日本、西日本に関係なく使えます。	--

こんな表示が出たら

表　示	意　味	処　理
BLANK DISC	MDに1曲も録音されていません。	録音にはそのまま使えます。
CANNOT PLAY	再生できないファイルです。	ディスクを交換するか別のファイルを選んでください。
CAN'T EDIT	プログラム、ランダム、1グループ設定中は、MDの編集やタイトル入力ができません。	各設定を解除した後、編集操作を行ってください。
Checking TOC	5CDイッキ録りを行う前にすべてのCDをチェックしています。	チェック完了までしばらくお待ちください。
CONTENT PROTECTED	曲にプロテクト（保護）がかかっています。	(HighMAT) そのトラックをスキップして再生します。
COPY PROTECTED	コピー禁止のCDです。	録音できません。
DISC FULL	MDの空き時間が足りません。	不要な曲を消去するか、新しい録音用MDに取り替えてください。
DISC PROTECTED	MDが誤消去防止状態になっています。	録音・編集するには、MDの誤消去防止つまみを閉じた状態にしてください。
DISC 1※ コウソクロクオンキンシジカン	前回高速録音してから74分経過していません。	74分経過してから高速録音するか、定速で録音してください。
DISC 1※ ロクオンキンシディスク（または）CAN'T REC	録音できないディスク、あるいは、録音できない部分です。	録音できません。
DISC 1※ トラックスウガ 1※キョク フソク	高速録音したCDのトラック数と録音したMDのトラック数が一致していません。	確認したうえで必要ならば録音し直してください。
DISC 1※ トラックスウガ 1※キョク オオイ		
DVD NO PLAY	再生できないディスク、“視聴制限”を設定したディスクが入っています。	ディスクを交換する。 視聴制限を解除する。
DVD U11 （テレビ画面には「ディスクを確認してください。」）	ディスクが汚れていたり、ファイナライズされていないDVD-Rのため再生できません。	汚れを取り除いてください。 ファイナライズしてください。
EMERGENCY STOP	録音中に異常が発生しました。	MDを入れ直し、操作し直してください。
ERROR	操作が違います。	取扱説明書に従って、操作し直してください。
F□□ H□□（□□は数字を示します）	内部回路に不具合が起きた可能性があります。	1度、電源を入れ直してください。それでも表示が消えないときは、販売店にご相談ください。
GROUP DATA FULL	UTOCエリアに空き領域がないため、グループにまとめたり、ディバイドやムーブができません。	不要なタイトルを消去するか、タイトルを短くしてください。または、1つのグループを解除してください。
MD F□□ （□□は数字を示します）	MDの読み取りに問題のある可能性があります。	電源を切/入したあと、MDを入れ直してください。それでも表示が消えないときは、販売店にご相談ください。
NO REMAIN	MDに空きのない状態で、CDのイッキ録りをしようとしました。	不要な曲を消去するか、新しい録音用MDに取り替えてください。
Playback DISC	再生専用MDです。	録音用MDに取り替えてください。
READ ERROR	WMA/MP3で再生しようとしたトラックが読み取れませんでした。	スキップされ、次のトラックが再生されます。
SCMS CAN'T COPY	CD-ROMなど、MDに録音できない音源を録音しようとしました。	オーディオ用のCDに取り換えてください。または、アナログ録音に切り換えてください。
TITLE FULL	この曲はこれ以上タイトル入力できません。	タイトルを短くしてください。
TITLE OVER	タイトルを書き込むだけの空きがない状態で、まとめてタイトルを入力しようとしました。	録音または再生が終了して“UTOC Writing”の点滅後に、つづきを入力してください。
TOC ERROR （または）DISC ERROR	MDの読み取りに問題のある可能性があります。	電源を切/入したあと、MDを入れ直してください。
	MDに異常があるか、損傷しています。	MDを取り替えてください。
TRACK NUMBER NOT EQUAL	曲数の違うMDへはタイトルをコピーできません。	曲数の同じMDに取り替えてください。
TRACK PROTECTED	曲にプロテクト（保護）がかかっています。	(MD) 編集・消去していいか、確認してから操作してください。 (WMA) そのトラックをスキップして再生します。
UTOC FULL	タイトルの書き込みまたはグループ編集できるだけの空きがありません。	不要なタイトルを消去するか、タイトルを短くしてください。またはグループを1つ解除してください。
	254曲入っているMDで曲をディバイドしようとしました。（最大曲数は254曲）	不要な曲を消去するか、2曲を1つにつなげてください。

※数字は表示される時の状態により異なります。

故障かな!?

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。なお、これらの処置をしても直らない場合や、この表以外の症状は、お買い上げの販売店にご相談ください。

こんなときは		ここをご確認ください	処理	参照ページ
システム全体に共通	電源「切」時に表示部が変化する。	デモ機能が働いていませんか。	デモ機能を「切」にする。	12
	電源が入っているのに音が出ない。 再生中に音が出なくなった。	スピーカーコードの先端のビニール部分を抜いてから接続していますか。	スピーカーコードを正しく接続する。	10、11
		スピーカーコードがはずれたり、⊕、⊖がショートしていませんか。		
	音の位置が定まらない。 左右の音が逆になる。	スピーカーコードの⊕ ⊖、別売り機器のコードの左右を逆に接続していませんか。	スピーカーコード、別売り機器のコードを正しく接続する。	10、11、54
	再生中に「ブーン」という音がする。	接続コードの近くに電源コードや蛍光灯がありませんか。	電気器具を本機からできるだけ離す。 電源コードを逆に差しかえてみる。	--
リモコン	リモコン操作ができない。	乾電池の⊕、⊖が逆になっていませんか。	⊕、⊖を正しく入れる。	9
		乾電池が消耗していませんか。	新しい乾電池と交換する。	
ラジオ	AM放送がうまく受信できない。	アンテナは接続していますか。	AMループアンテナを接続してください。	10
	放送がうまく受信できない。 雑音、ひずみが多い。 “ST” が点滅する。	近くに大きなビルや、山がありませんか。	屋外アンテナを利用してみる。	34
		送信所が遠かったり、アンテナの設置場所や向きが悪くありませんか。	付属のアンテナの向きや位置を変えてみる。 屋外アンテナを使うのも1つの方法です。	34
		テレビ、ビデオデッキ、パソコン、BSチューナーなどの電源が入っていませんか。	本機と各機器との距離を離すか、各機器の電源を切る。	--
		携帯電話の充電を近くでしていませんか。		
		アンテナ線が電源コードに接近していませんか。	アンテナ線と電源コードを離す。	--
MD	MDを入れても、自動的に引き込まれない。 MDを入れるのに、かなりの力がいる。	排出動作中のMDに、無理な力を加えませんでしたか。	電源を入れなおす。	--
	再生できない。	寒い所から暖かい所に持ってきたなど、急激な温度差がありませんでしたか。	レンズ部の露付きが考えられます。 約1時間待ってから使用する。	--
	録音・編集ができない。	誤消去防止状態になっていませんか。	MDの誤消去防止つまみを閉じる。	60
	タイトルが入力できない。			
	MDのタイトルや曲名が出なかったり、表示が途切れたりする。	MDに記録できる文字数（英数記号で最大約1700文字。カナは約その半分）を超えていませんか。	文字数の少ないタイトルに付け直す。	42
	MDを入れても“MD TOC Read”が点滅したままで、操作ができなくなる。 また、この状態で [▲ MD] を押しても、MDが出てこない。	MDのTOC情報読み込み中に異常が発生しました。	① [⏻/I POWER] を押す。 しばらくするとカチッと音がして完全に電源が切れます。 ②電源を入れ、すぐ [▲ MD] を押す。 MDが出てきます。（出てこないときは、手順 ①② をくりかえす） ③MDを取り替える。 異常が再発するときは、販売店にご相談ください。	--
	高速録音ができない。	録音を終了した時点から74分間待たずに同じCDを高速録音しようとしませんでしたか。	74分待ってから録音する。 定速録音する。	38
	ディスクタイトルの表示がおかしい。	グループ機能未対応機種でタイトル入力や編集作業を行いませんでしたか。	本機で入力をやり直してください。	--
		すでに漢字でタイトルが記録されたMDのタイトル編集を本機で行いませんでしたか。	本機では漢字の編集はできません。	--
	左右のチャンネル間に音漏れがある。	LP4の曲をディバイドしたりコンバインしたりしませんでしたか。	分けた部分やつなげた部分で若干の音漏れを生じる場合があります。	--

長時間使用すると、本体が熱を持ちますが、使用には差しつかえありません。

こんなときは		ここをご確認ください	処理	参照ページ
ディスク（DVD/CD）	テレビに映像が映らない。 画面サイズがおかしい。	テレビのビデオ入力は正しいですか。	本機の接続に合わせて、テレビのビデオ入力を切り換える。	--
		初期設定「TV アスペクト」を設定しましたか。	「TV アスペクト」を正しく設定する。	13、52
			PAL 方式の DVD オーディオは、上下に引き延ばされた画面になることがあります。	--
		AUDIO ONLY を「入」にしていませんか。	AUDIO ONLY を解除してください。	50
	ディスクを入れても、表示部が変わらない。 再生ボタンを押しても再生が始まらない。	規格外のディスクを使用していませんか。	規格に適合したディスクと取り替える。	7
		本機で再生できるディスクですか。	ディスクのジャケットを確認してください。	7
		「視聴制限」しているディスクではありませんか。	初期設定「視聴制限」の項目を確認してください。	52
		寒い所から暖かい所に持ってきたなど、急激な温度差がありませんでしたか。	レンズ部の露付きが考えられます。 約 1 時間待ってから使用する。	--
	特定の箇所が正常に再生しない。 操作しても、うまく働かない。	ディスクが汚れていませんか。	柔らかい布などでふく。	59
		テレビ画面に“⊘”が表示されていませんか。	ディスクによっては、特定の操作を禁止している場合があります。	--
	音声言語、字幕言語が切り換わらない。 アングルを変えられない。	再生中のディスクに、複数の言語や字幕、アングルが記録されていますか。	ディスクのジャケットを確認してください。	58
	GUI の表示が欠けている。 GUI が表示されない。	右記の操作で、GUI を動かせます。	[◀、▶] で GUI 右端の矢印アイコンを選び、[▲、▼] で上下に動かす。	27
	プログレッシブ出力（525P）時、映像の一部が二重にぶれて見える。	初期設定「プログレッシブ出力」を確認してください。	「不可」にして“PROG.”表示を消します。映像ソフト側に起因する症状ですが、インターレース（525I）では問題なく再生できます。	52
	表示部の“D.MIX”が点滅したままになる。	マルチチャンネルのダウンミックスを禁止しているディスクではありませんか。	映像ソフト側が指定したスピーカー構成でないと正常に再生できません。同じ曲を 2ch で収録しているディスクの場合は、[AUDIO] で切り換えるなどしてお聞きください。	--
	「視聴制限」の暗証番号を忘れた。 初期設定の内容を工場出荷時の状態に戻したい。	右記の操作で、お買い上げ時の状態に戻してください。	1. セレクターが“DVD/CD”のときに本体の [■] を押しながらリモコンの [≧10] を押す（テレビ画面に“オールクリア”表示が出て、お買い上げ状態に戻ると消えます。） 2. 電源を「切」「入」する。	--
	高速録音時に音飛びや MD にノイズが記録される。 CD-R/RW から録音できない。	ディスクの表面に傷や指紋が付いていませんか。	傷が付いているときは交換、指紋は柔らかい布でふいてください。ふいたあと定速録音すると改善される場合があります。 CD-R/RW では、記録状態によっては録音できないことがあります。	--
	5CD イッキ録りができない。	CD 以外から録音していませんか。	CD 以外からイッキ録りはできません。他の方法で録音してください。 条件によってイッキ録りができないことがあります。	--
	WMA/MP3 ディスクが正しく読み込まれない。	マルチセッションでディスクを作成している場合、セッションの終了処理をしましたか。	セッションの終了処理を行った WMA/MP3 ディスクを使用してください。	58
		1 セッションあたりのデータ量が小さくありませんか。	1 セッションのデータ量を約 5MB（3 分程の曲で約 2 曲分）以上にしてください。	--

本機のスピーカーについて

- テレビとの近接使用が可能なスピーカーシステム（防磁設計 JEITA※）ですが、設置のしかたによっては色ムラが生じる場合があります。その場合は、一度テレビの電源を切り、15 ～ 30 分後に再び電源を入れてください。テレビの自己消磁機能により、画面への影響が改善されます。その後も色ムラが残るような場合は、スピーカーをさらに離してご使用ください。
- 近くに磁石等磁気を発生するものが置かれている場合には、本スピーカーとの相互作用により、テレビに色ムラを発生することがありますので、設置にご注意ください。

※「防磁設計（JEITA）」とは、（社）電子情報技術産業協会の技術基準に適合したスピーカーシステムです。

保証とアフターサービス

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は…

- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！
- その他のお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！

■ 保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体１年間

■ 補修用性能部品の保有期間

当社はDVD/MDステレオシステムの補修用性能部品を、製造打ち切り後８年保有しています。

注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

本機は一般家庭用として作られています。一般家庭用以外での使用（例えば飲食店などの営業用としての長時間使用など）により故障した場合は、保証期間内でも有料修理とさせていただくことがあります。

■ 修理を依頼されるとき

64～65ページの表に従ってご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

●保証期間中は

保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。

●保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

●修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご連絡いただきたい内容			
品　名	DVD/MDステレオシステム	お買い上げ日	年　月　日
品　番	SC-PM2DVD	故障の状況	できるだけ具体的に

修理に関するご相談

ナショナル／パナソニック　修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号）　**0570-087-087**

- お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。
- 最寄りの修理ご相談窓口は、次ページをご覧ください。

使いかた・お買い物などのご相談

ナショナル／パナソニック　お客様ご相談センター

365日／受付9時～20時

電話　フリーダイヤル　**0120-878-365**（パナは365日）

■携帯電話・PHSでのご利用は… **06-6907-1187**

FAX　フリーダイヤル　**0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan
〈外国人／海外仕様商品（ツーリスト商品他）等ご相談窓口〉
Tokyo (03) 3256-5444　**Osaka** (06) 6645-8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

ナショナル／パナソニック 修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号） 0570-087-087

- お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。
  呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。

北海道地区

窓口	所在地	電話番号
札幌	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7	☎(011)894-1251
旭川	旭川市2条通21丁目左1号	☎(0166)31-6151
帯広	帯広市西19条南1丁目7-11	☎(0155)33-8477
函館	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）	☎(0138)48-6631

東北地区

窓口	所在地	電話番号
青森	青森市第二問屋町3-7-10	☎(017)739-9712
秋田	秋田市御所野湯本2丁目1-2	☎(018)826-1600
岩手	盛岡市羽場13地割30-3	☎(019)639-5120
宮城	仙台市宮城野区扇町7-4-18	☎(022)387-1117
山形	山形市流通センター3丁目12-2	☎(023)641-8100
福島	福島県安達郡本宮町字南ノ内65	☎(0243)34-1301

首都圏地区

窓口	所在地	電話番号
栃木	宇都宮市御幸町194-20	☎(028)689-2555
群馬	高崎市大沢町229-1	☎(027)352-1109
水戸	水戸市柳河町309-2	☎(029)225-0249
つくば	つくば市花畑2丁目8-1	☎(0298)64-8756
埼玉	桶川市赤堀2丁目4-2	☎(048)728-8960
千葉	千葉市中央区星久喜町172	☎(043)208-6011
東京	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17	☎(03)5477-9780
山梨	甲府市宝1丁目4-13	☎(055)222-5171
神奈川	横浜市港南区日野5丁目3-16	☎(045)847-9720
新潟	新潟市東明1丁目8-14	☎(025)286-0171

中部地区

窓口	所在地	電話番号
石川	石川県石川郡野々市町稲荷3丁目80	☎(076)294-2683
富山	富山市寺島1298	☎(076)432-8705
福井	福井市開発4丁目112	☎(0776)54-5606
長野	松本市大字笹賀7600-7	☎(0263)86-9209
静岡	静岡市西島765	☎(054)287-9000
名古屋	名古屋市瑞穂区塩入町8-10	☎(052)819-0225
岡崎	岡崎市岡町南久保28	☎(0564)55-5719
岐阜	岐阜県本巣郡北方町高屋太子2丁目30	☎(058)323-6010
高山	高山市花岡町3丁目82	☎(0577)33-0613
三重	久居市森町字北谷1920-3	☎(059)255-1380

近畿地区

窓口	所在地	電話番号
滋賀	守山市勝部6丁目2-1	☎(077)582-5021
京都	京都市伏見区竹田中川原町71-4	☎(075)672-9636
大阪	大阪市北区本庄西1丁目1-7	☎(06)6359-6225
奈良	大和郡山市椎木町404-2	☎(0743)59-2770
和歌山	和歌山市中島499-1	☎(073)475-2984
兵庫	神戸市中央区琴ノ緒町3丁目2-6	☎(078)272-6645

中国地区

窓口	所在地	電話番号
鳥取	鳥取市安長295-1	☎(0857)26-9695
米子	米子市米原4丁目2-33	☎(0859)34-2129
松江	松江市平成町182番地14	☎(0852)23-1128
出雲	出雲市渡橋町416	☎(0853)21-3133
浜田	浜田市下府町327-93	☎(0855)22-6629
岡山	岡山県都窪郡早島町矢尾807	☎(086)292-1162
広島	広島市西区南観音8丁目13-20	☎(082)295-5011
山口	山口市鋳銭司字鋳銭司団地北447-23	☎(083)986-4050

四国地区

窓口	所在地	電話番号
香川	高松市勅使町152-2	☎(087)868-9477
徳島	徳島県板野郡北島町鯛浜字かや108	☎(088)698-1125
高知	南国市岡豊町中島331-1	☎(088)866-3142
愛媛	松山市土居田町750-2	☎(089)971-2144

九州地区

窓口	所在地	電話番号
福岡	春日市春日公園3丁目48	☎(092)593-9036
佐賀	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044	☎(0952)26-9151
長崎	長崎市東町1949-1	☎(095)830-1658
大分	大分市萩原4丁目8-35	☎(097)556-3815
宮崎	宮崎市本郷北方字草葉2099-2	☎(0985)63-1213
熊本	熊本市健軍本町12-3	☎(096)367-6067
天草	本渡市港町18-11	☎(0969)22-3125
鹿児島	鹿児島市与次郎1丁目5-33	☎(099)250-5657
大島	名瀬市長浜町10-1	☎(0997)53-5101

沖縄地区

窓口	所在地	電話番号
沖縄	浦添市城間4丁目23-11	☎(098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0103

さくいん

Panasonic DVD/MDステレオシステム SC-PM2DVD 取扱説明書

愛情点検

長年ご使用のDVD/MDステレオシステムの点検を!

こんな症状はありませんか

- 煙が出たり、異常なにおいや音がする
- 音が出ないことがある
- 正常に動作しないことがある
- 商品に破損した部分がある
- その他の異常や故障がある

このような症状の時は使用を中止し、故障や事故の防止のために、必ず販売店に点検をご相談ください。

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です）

販売店名	☎（　　）　―	品番	SC-PM2DVD
お客様ご相談窓口	☎（　　）　―	お買い上げ日	年　月　日

松下電器産業株式会社　ネットワーク事業グループ
〒571-8505 大阪府門真市松生町1番4号

RQT7025-3S
H0403HM3063